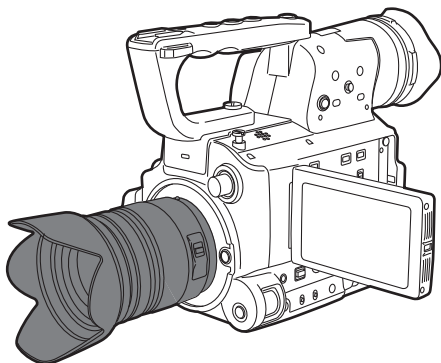
Panasonic®

取扱説明書 Vol.2

メモリーカードカメラレコーダー

品番 AG-AF105A

本書は、メモリーカードカメラレコーダーの詳しい操作方法について説明しています。
本機の基本操作は、製品に同梱の、「取扱説明書 Volume 1」（印刷物）をご覧ください。

AVCCAM

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前にVolume 1の「安全上のご注意」（5 ～ 8 ページ）を必ずお読みください。

JAPANESE

M0512HM1053 -YI
VQT4K32A-1

もくじ

Volume 1

Volume 2

撮影

再生

編集

表示

メニュー

ご参考

プログレッシブモードで撮影する

設定メニュー SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目（➔ 52 ページ）で 1080 モードの 30P、24P を選ぶと、プログレッシブモードで撮影できます。

30P モード：

30コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号は、30コマ/秒の画像を60フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
高画質な映像を得ることができます。

30 P　A B C D E F G H I J

60 i　Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Eo Ee Fo Fe Go Ge Ho He Io Ie Jo Je

24P モード：

24コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号はネイティブで記録されます。

25P モード：

25コマ/秒のプログレッシブモードで撮影を行います。
映像信号は、25コマ/秒の画像を50フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。
高画質な映像を得ることができます。

25 P　A B C D E F G H I J

50 i　Ao Ae Bo Be Co Ce Do De Eo Ee Fo Fe Go Ge Ho He Io Ie Jo Je

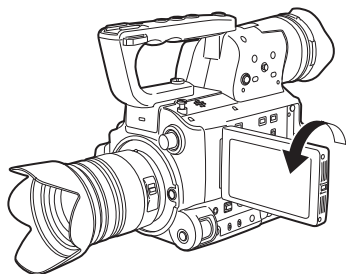
---

プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことに注意してください。

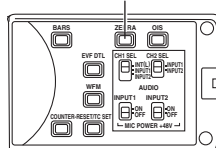
- シャッタースピードを1/50（OFF)に設定されることをお勧めします。
- 24Pモードで撮影を行う時は、4フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。

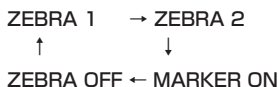
便利な撮影機能を使う

対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に 180 度回転させて、撮影者自身を撮影することができます。
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の SELF SHOOT 項目で MIRROR を選ぶと、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。

- REC CHECK ボタンを押した時の再生映像は左右反転しません。
- 対面撮影時の動作状態表示
  表示なし: 記録できない状態(カードなし等)
  ○: 撮影中、撮影停止移行中
  ▯▯: 撮影停止(撮影待機)
  !: 警告表示中
- 画面表示が一部だけになります。「!」が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、メッセージの内容を確認してください。
- ビューファインダーで画面表示情報を確認する場合は、液晶モニターを通常撮影方向に回転させてください。

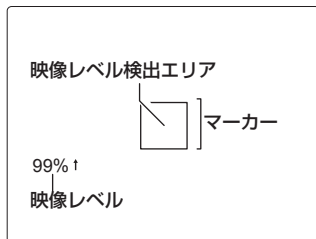
ゼブラパターン

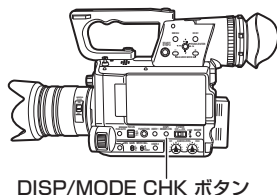
CAM モード時に ZEBRA ボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカーがビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。
- 極端に明るい部分
- 光っている部分

ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。
ZEBRA ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。

ZEBRA 1 → ZEBRA 2
↑ ↓
ZEBRA OFF ← MARKER ON

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZEBRA DETECT 1 項目と ZEBRA DETECT 2 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。(➔ 60 ページ)
また、ZEBRA DETECT 2 項目を OFF に設定すると、ZEBRA ボタンを押しても ZEBRA 2 が表示されなくなります。
設定されたゼブラパターンは一定時間(約 2 秒間)、% で表示されます。

カラーバーにもゼブラパターンは表示します。

マーカー

ゼブラパターンを表示している時に、ZEBRA ボタンを押すと、画面中央にマーカーを表示します（設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の Y GET MARKER 項目を ON に設定している時）。
画面中央付近の明度を数値で確認できます（0% ～ 99%）。
99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

再度 ZEBRA ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

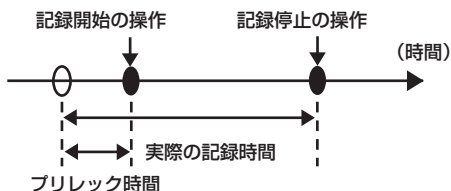
撮影状態の確認と表示

DISP/MODE CHK ボタン

撮影待機または撮影中に DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンを放すと通常の表示に戻ります。

撮影待機または撮影中に DISP/MODE CHK ボタンを押すと、動作状態表示とエリアなどの枠表示、カウンター、マーカー、セーフティゾーン表示以外のすべての表示がオフになります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。(➔ 51 ページ)
POWER スイッチを OFF にして本機の電源を切る、または動作モードを切り替えても維持されます。

また、PB モードでサムネール画面表示中に、DISP/MODE CHK ボタンを押すと、選択されているクリップのプロパティが表示されます。
（クリップの選択は、OPERATION レバーでカーソルを移動させて行います。）

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より約 3 秒前からの映像と音声を記録します。

1 **設定メニュー RECORDING SETUP 画面の PREREC MODE 項目を ON にする。**
画面に PRE-REC が表示されます。
- TC/UB SETUP 画面のTCG 項目がREC RUNに設定されている場合は、自動的に FREE RUNに設定が変更されます。

2 **START/STOP ボタンを押す。**
約 3 秒前からの映像と音声を記録します。
- 下記の場合、すぐに記録を開始しても約3 秒前の映像と音声が記録できない場合があります。
  - ・PB モードからCAM モードへの切り替え直後
  - ・電源ON 直後
  - ・PREREC MODE 項目を変更した直後
- プリレック機能を使って撮影したクリップのサムネールはSTART/STOP ボタンを押した時点の画像が表示されます。

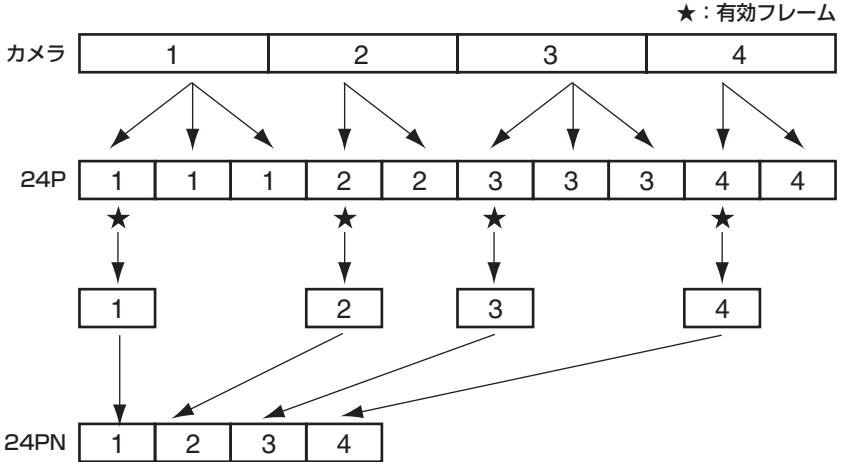
リレー機能

記録中の SD メモリーカード残量が不足した時に、もう一方の SD メモリーカードスロットへ記録を継続する機能です。

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の RELAY REC 項目を ON に設定する。
- 記録中にカード残量が不足すると自動的に、もう一方のスロットのSDメモリーカードへ継続して記録します。
- SDメモリーカードスロットに記録可能なSDメモリーカードが挿入されていない場合、リレー記録は動作しません。
- 本機での連続記録最長時間は12時間です。リレー機能を使用しても延長できません。

バリアブルフレームレート（VFR）

本機は、映画の手法であるコマ落とし（アンダークランク）や高速度（オーバークランク）撮影を、フレームレートコンバーターを使用することなく行うことができます（1080_24p、1080_30p、または 1080_25p に設定する必要があります）。

24P モード：
24 コマ / 秒のネイティブモードで撮影を行います。映像信号は、24 コマ / 秒の画像が 24 フレームに記録されます。

- VFRを設定すると、インターバル記録機能、リレー記録機能、プリレック機能は、自動的に全てOFFに設定され、TCGは自動的にREC RUNに設定されます。
- 記録中にフレームレートを変更することはできません。
- VFR撮影は、REC FORMATを1080_24p、1080_30p、または1080_25pに設定した撮影時のみ可能です。720pモードでは動作しません。

記録フレームレートは、下記表の 20 通りの中から設定できます。

表示される記録フレームレートと実際に記録されるフレームレートには若干の誤差があります。下表を参照ください。

SYSTEM FREQ = 59.94 Hz 時

記録フレームレート	60	54	48	44	40	36	34	32	30	28	27	26	25	24	22	21	20	18	15	12
実記録フレームレート	59.94	53.74	47.54	43.96	39.96	35.97	33.88	31.73	29.97	27.83	27.25	25.97	24.98	23.98	21.98	20.75	19.98	17.63	14.99	11.99

SYSTEM FREQ = 50 Hz 時

記録フレームレート	50	48	45	42	37	34	32	30	28	27	26	25	24	23	22	21	20	18	15	12
実記録フレームレート	50.00	48.08	45.45	41.67	36.76	34.09	31.82	30.00	27.78	26.79	26.04	25.00	24.00	23.08	22.06	20.83	20.00	17.86	15.00	12.50

ネイティブ記録

1 設定メニュー SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目（➔ 52 ページ）で記録フォーマット 1080/24P を選ぶ。

2 設定メニュー SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目（➔ 52 ページ）で FILM CAMを選び、VFR MODEでONにして、FRAME RATE 項目（➔ 52 ページ）で任意の記録フレームレートを設定する。

3 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでネイティブ記録を開始します。

- 音声は記録されませんが、設定時、記録中も、AUDIO OUT端子、HDMI端子、SDI OUT端子から音声は出力されます。オーディオメータも振れます。
- VFRモード時は、マニュアルフォーカスモードになります。

スタンダード記録

1 設定メニュー SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目（➔ 52 ページ）で記録フォーマット 1080/30P を選ぶ。

2 設定メニュー SCENE FILE 画面の OPERATION TYPE 項目（➔ 52 ページ）で FILM CAMを選び、VFR MODEでONにして、FRAME RATE 項目（➔ 52 ページ）で任意の記録フレームレートを設定する。

3 START/STOP ボタンを押す。
VFR モードでスタンダード記録を開始します。
- 音声は記録されませんが、設定時、記録中も、AUDIO OUT端子、HDMI端子、SDI OUT端子から音声は出力されます。オーディオメータも振れます。
- VFRモード時は、マニュアルフォーカスモードになります。
- 記録フレームレート30Pは2：2プルダウン記録になります。

バリアブルフレームレート（VFR）の活用

映画制作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ 24 fps（毎秒 24 コマ）のフレームレートが通常（1 倍速）となります。以下の設定にすれば上映時と同じ再生を得ることができます。1080P プログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな高画質映像が得られます。

記録フォーマット（REC FORMAT）	記録フレームレート（FRAME RATE）
1080P/24P（ネイティブ記録）	24 fps*

CM/ ドラマ制作のための標準速撮影

HDTV/SDTV 放送などテレビ画面上映を目的とした制作の場合、30 fps（毎秒 30 コマ）のフレームレートが通常（1 倍速）となります。以下の設定にすれば放送時と同じ再生を得ることができます。CM、ミュージッククリップの収録がフィルムライクな高画質で、しかもテレビ放送に適したコマ数で可能です。

記録フォーマット（REC FORMAT）	記録フレームレート（FRAME RATE）
1080/30P（2：2 プルダウン）	30 fps*
1080/25P	25 fps*

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 24P で撮影した場合、VFR 記録フレームレートを 12 fps にすれば 2 倍速のクイックモーション効果が得られます。

記録フォーマット（REC FORMAT）	記録フレームレート（FRAME RATE）
1080/24P	22 fps以下に設定*
1080/30P	28 fps以下に設定*
1080/25P	24 fps以下に設定*

オーバークランク撮影

カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 30P で撮影した場合、記録フレームレートを 60fps にすれば 1/2 倍速のスローモーション効果が得られます。1080P プログレッシブ映像が滑らかで高画質のスローモーションを生み出します。

記録フォーマット（REC FORMAT）	記録フレームレート（FRAME RATE）
1080/24P	25 fps 以上に設定 *
1080/30P	32 fps 以上に設定 *
1080/25P	26 fps 以上に設定 *

* 記録フレームレート(FRAME RATE)は20種類からの選択になります。(➔ 14ページ)

FUNCTION ノブを使った撮影

FUNCTION ノブを使って、以下の撮影を行うことができます。

- エリアオートフォーカス機能
  FUNCTIONノブで選択したエリア枠内で、オートフォーカス動作を行います。
- エリアオートアイリス機能
  FUNCTIONノブで選択したエリア枠内で、絞り値の自動調整を行います。FACE DETECT機能が設定されている場合は、設定できません。
- エリア輝度表示
  FUNCTIONノブで選択したエリア枠内で、平均した輝度レベルを表示します。

1 設定メニュー SW MODE 画面の FUNCTION KNOB 項目（➔ 54 ページ）で機能を選択する。

INH：　機能を割り当てません

FOCUS：エリアフォーカス機能とエリアフォーカスバー機能（MENU 設定時）

IRIS：　エリアアイリス機能とエリアアイリスメーター機能（MENU 設定時）

YGET：　エリア輝度表示

FOCUS/IRIS：
エリアフォーカス機能とエリアアイリス機能の同時動作、エリアフォーカスバー機能 / エリアアイリスメーター機能の同時動作（MENU 設定時）

FOCUS/YGET：
エリアフォーカス機能とエリア輝度表示の同時動作、エリアフォーカスバー機能（MENU 設定時）の同時動作

2 FUNCTION ノブを押す。

- 白枠が表示されます。
- 枠が表示される以外、カメラの動作に変化はありません。

3 もう一度 FUNCTION ノブを押す。

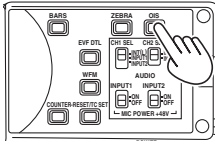
- 白枠が黄枠に変わります。
- 黄枠の時に、MENUで設定されたFUNCTIONノブの機能が、枠内のエリアで動作します。
- FUNCTIONノブをもう一度押すと黄枠が白枠に戻ります。
- FOCUS/IRISのAUTO/MANUALの切替は、通常同様に操作します。
- エリア輝度表示が動作しているときは、中央輝度表示は動作していません。
- FUNCTIONノブを2秒以上押し続けると、枠が消え、エリア機能が終了します。

4 FUNCTION ノブを上下左右に操作する。

- 白枠が移動します。選択したいエリアに移動させてください。
- FUNCTIONノブを押してください。

- 顔検出動作時は、エリア機能は動作しません。
- 電源OFFや再生モードへの移行で、エリア機能は解除されます。
- お使いのレンズによっては、オートフォーカス・オートアイリス動作ができません。
- エリア輝度表示・FOCUS BAR・IRIS METER機能は、ご使用のレンズの種類に関わらず動作します。

手ブレ補正機能

カメラを手に持って撮影する時は、手ブレ補正機能を使うことで、手ブレの少ない撮影を行うことができます。
OIS ボタンで手ブレ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ブレ補正が ON の時は、ビューファインダーや液晶モニターに ((✋)) が表示されます。
三脚を使用する時は、手ブレ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。

- OISボタンがあるレンズはレンズのボタンのみ有効で、本体のボタンは無効です。また、レンズによってはOIS機能がないものがあります。
- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

映像に効果を加える

BLACKFADE 機能や WHITEFADE 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。再生、REC CHECK、サムネール表示時は強制的にボタンが無効になります。

BLACKFADE：
ボタンを押すと映像全体を黒でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。また、ボタンを押し続けるとフェードアウトし、ボタンを放すとフェードインします。

WHITEFADE：
ボタンを押すと映像全体を白でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。また、ボタンを押し続けるとフェードアウトし、ボタンを放すとフェードインします。

USER ボタンの活用

USER1 ～ 3 ボタンには、13 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。
被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時に切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。
工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

USER1：IN RED
USER2：ATW LOCK
USER3：REC CHECK

詳しくは、設定メニュー SW MODE 画面の USER1 SW ～ USER3 SW 項目 (➔ 56 ページ) を参照してください。
機能を割り当てた USER ボタンを押して動作させた状態で電源を切ったり、モードを移行させせると、元の状態に戻ります。

逆光補正

逆光で被写体を撮影する時は、BACKLIGHT 機能を割り当てた USER ボタンを押します。
画面に BACK LIGHT が表示されます。
逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。
再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。（マニュアルアイリス時は、逆光補正を解除してもその時点のアイリス状態を維持します。）

- AUTO IRISの動作しないレンズでは、逆光補正機能は動作しません。

カラーバー

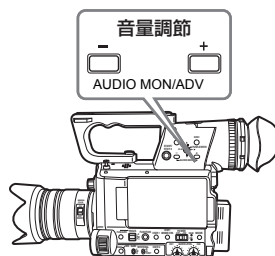
CAM モードの時に、BARS ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度押すと、元の映像に戻ります。

- カラーバー表示中に1kHz のテストトーンがヘッドホン端子または、AUDIO OUT端子に出力されます。スピーカー出力はされません。
- START/STOP ボタンを押すと、カラーバーを記録することができます。
- カラーバー表示は電源を切ると解除されます。
- PBモード時はBARSボタンは無効になります。

ウェーブフォームモニター機能

CAM モード中に WFM ボタンを押すと、液晶モニターに映像の波形を表示することができます。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- 設定メニューのSW MODE 画面のWFM 項目(➔ 56ページ)で波形表示とベクトル表示、波形/ベクトルを切り替えることができます。
- ビューファインダーには表示されません。
- ウェーブフォームは記録できません。
- ウェーブフォーム表示中は、撮影画面の一部や画面表示がかくれて見えなくなるため、ビューファインダーを併用してお使いください。

撮影時の音量調整

ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、AUDIO MON/ADV ボタンで音量を調整することができます。

- 入力音声レベルの調整について(➔ 18ページ)。
- 調整した音量は、POWER スイッチをOFFにして電源を切った場合に記憶します。

ショットマーク機能

クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといいます。サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。
撮影中、SHOT MARK 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、液晶モニターやビューファインダーに MARK ON と表示され、撮影中のクリップのサムネールにショットマークが設定されます。もう一度押すと解除されます。
また、クリップのサムネール操作でもショットマークの設定／解除が可能です。(➔ 31 ページ)
ただし、再生中はショットマークの設定 / 解除はできません。

- ショットマークの設定/解除ができない時は、INVALIDが表示されます。

インデックス記録

撮影中または再生中のクリップのある映像ポイントに、インデックスを付加する機能です。
撮影中に INDEX 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、そのポイントにインデックス信号が記録されます（➔ 56 ページ)。
また、再生中にインデックスを付加したり、インデックスを付けたクリップのみ選んで表示／再生できます。(➔ 34、35 ページ)

- インデックスは１クリップにつき、最大100個まで記録できます。
- インデックスが100個を超えると付加操作を行っても、INVALIDと表示されて付加できません。
- 連続してインデックスを付加する場合は、1秒以上の間隔をあけて付加してください。1秒以内に連続して付加操作を行っても、最初の操作しか有効になりません。

LAST CLIP 機能

USER1 ～ 3 ボタンのいずれかに、LAST CLIP を割り当てると、ボタンを押すことで最後に撮影したクリップを削除することができます。
LAST CLIP を割り当てた USER ボタンを押すと、画面に YES/NO が表示されます。
YES を選ぶと最後に撮影したクリップが削除されます。

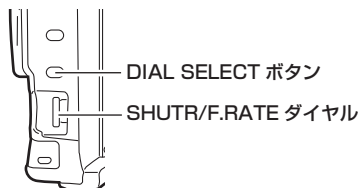
- クリップを削除しない場合は、NO を選択してください。
- 撮影終了後、PB モードに切り替えた場合や、記録フォーマットを変更した場合はボタンを押しても、クリップは削除できません。また、電源を切って、再度電源を入れた場合も、クリップは削除できません。
- 撮影後に、SDメモリーカードの抜き差しを行った場合は、ボタンを押してもクリップは削除できません。

CAPTURE 機能

USER1 ～ 3 ボタンのいずれかに、CAPTURE を割り当てると、静止画撮影することができます。

- 静止画の記録画素数やクオリティを変更することは出来ません。
- 動画記録時、PRE RECモード使用時は、動作しません。
- 記録されるSDメモリーカードは、動画記録の対象カードと同一です。

シャッタースピードを調整する

SHUTR/F.RATE ダイヤルの使い方

DIAL SELECT ボタンを押す。

- SHUTR/F.RATEダイヤルの役割が以下の様に、順に変わります。
  SHUTTER → SYNCRO SCAN → FRAME RATE → DIAL LOCK → SHUTTER →
- SYNCRO SCANはSHUTTERがSYNCRO SCAN時に選択可能になります。FRAME RATEは1080/24P,30P,25P時のFILM CAM時に、選択可能になります。

誤操作防止のため、設定後、DIAL SELECT ボタンで DIAL LOCK 設定にする事をお勧めします。

SHUTTER の設定の仕方

1 **DIAL SELECT ボタンで、SHUTTER 機能を選択する。**

2 **SHUTR/F.RATE ダイヤルを押す。**
- シャッターがON/OFFします。
- ONした状態でSHUTR/F.RATEダイヤルを回すと、シャッター速度が次ページの表の順で変化します。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低下します。
- シャッタースピードを遅くした場合には、合焦時間が長くなるため、三脚などに固定して撮影することをお勧めします。
- 蛍光灯などの放電管による照明下では、画面上に横帯が現れることがあります。この時、シャッタースピードを調整すると改善される場合があります。
- すばやく横切る被写体を撮影すると、少し歪んで見えることがあります。これは、撮像素子(MOSセンサー)の信号読み出し方式によるものであり、故障ではありません。
- シャッタースピードが遅いとき(1/2 ～ 1/15など)に、画面に白・赤・緑・青等の点が出ることがありますが、故障ではありません。

SYNCRO SCAN の設定の仕方

1 **SHUTTER の設定で、SYNCRO SCAN を選択する。**

2 **DIAL SELECT ボタンで、SYNCRO SCAN 機能を選択する。**

3 **SHUTR/F.RATE ダイヤルを回す。**
- SYNCRO SCANシャッターの速度を設定できます。
- SHUTR/F.RATEダイヤル押しながら回すと、速度変化が速くなります。
- SYNCRO SCANの設定は、MENU設定、SCENE FILE画面のSYNCRO SCAN項目でも設定できます。

MENU-SCENE FILE-OPERATION TYPE により、設定形式が変わります。
FILM CAM：　角度表示（180.0d など）
VIDEO CAM：　速度表示（1/48.0 など）

FRAME RATE の設定の仕方

1 **DIAL SELECT ボタンで、FRAME RATE 機能を選択する。**

2 **SHUTR/F.RATE ダイヤルを押す。**
VFR モードになります。
- SHUTR/F.RATEダイヤルを回すと、FRAME RATEを設定できます。
- FRAME RATEの設定は、MENU設定、SCENE FILE画面のFRAME RATE項目でも設定できます。

- FRAME RATE機能をご使用になるには、MENU-SCENE FILE-OPERATION TYPEが、FILM CAM に設定され、MENU-SCENE FILE-REC FORMATが、PH1080/24P またはPH1080/30P（またはPH1080/25P)に設定されている必要があります。
- MENU-AV IN/OUT SETUP-SDI 24PsFがONに設定されていると、FRAME RATE機能は設定できません。
- FRAM RATE機能をONにすると、自動的にマニュアルフォーカスになります。

SYSTEM FREQ = 59.94Hz /OPERATION TYPE = FILM CAM 時

1080/60P、1080/60i、720/60P の時	
標準（OFF）1/60	SYNCRO SCAN ↔ 1/100 ↔ 1/120 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250
1080/30P、720/30P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/30 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250
1080/24P、720/24P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250

SYSTEM FREQ = 50Hz /OPERATION TYPE = FILM CAM 時

1080/50P、1080/50i、720/50P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250
1080/25P、720/25P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/25 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250

SYSTEM FREQ = 59.94Hz /OPERATION TYPE = VIDEO CAM 時

1080/60P、1080/60i、720/60P の時	
標準（OFF）1/60	SYNCRO SCAN ↔ 1/2 ↔ 1/4 ↔ 1/8 ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120 ↔ 1/100
1080/30P、720/30P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/2 ↔ 1/4 ↔ 1/8 ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120 ↔ 1/60
1080/24P、720/24P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/2 ↔ 1/3 ↔ 1/6 ↔ 1/12 ↔ 1/24 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120 ↔ 1/60

SYSTEM FREQ = 50Hz /OPERATION TYPE = VIDEO CAM 時

1080/50P、1080/50i、1080/25P、720/50P、720/25P の時	
標準（OFF）1/50	SYNCRO SCAN ↔ 1/2 ↔ 1/3 ↔ 1/6 ↔ 1/12 ↔ 1/25 ↕ ↕ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120 ↔ 1/60

シンクロスキャン

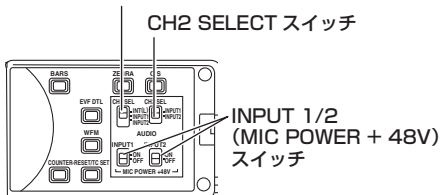
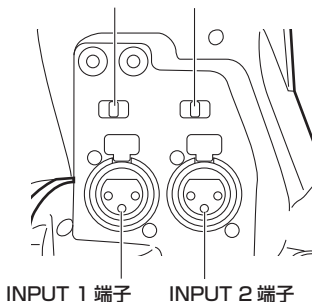
テレビ画面やパーソナルコンピューターのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、SHUTR/F.RATEダイヤル（➔ 14 ページ）、または設定メニューSCENE FILE 画面の SYNCRO SCAN 項目で設定します。（➔ 52 ページ）

- テレビ画面やパーソナルコンピューターのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- 設定メニュー SYNCRO SCAN項目の設定値がグレー表示の場合は、現在の記録フォーマットでは有効になりません。記録フォーマットごとの設定値で動作します。
  記録フォーマットごとの設定値は以下になります。
  60i/60Pモード：1/60
  30Pモード：　1/30

プログレッシブモードは、設定メニューSCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目（➔ 52 ページ）で切り替えることができます。

入力音声を切り替える

撮影時は、最大 2 チャンネルの音声を記録することができます。また、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、および接続したオーディオ機器に切り替えることができます。

CH1 SELECT スイッチ

INPUT 1 スイッチ　INPUT 2 スイッチ

内蔵マイクを使う

1 CH1 SELECT スイッチを INT（L）の位置にする。
- 内蔵マイクLchの音声信号が音声チャンネル1に記録されます。

2 CH2 SELECT スイッチを INT（R）の位置にする。
- 内蔵マイクRchの音声信号が音声チャンネル2に記録されます。

外部マイクやオーディオ機器を使う

1 INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に外部マイクまたはオーディオ機器を接続する。
(➔ 41 ページ)

2 INPUT 1/2 スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える。

LINE:（オーディオ機器を接続した時）
入力レベルは 0 dBu です。

MIC:（外部マイクを接続した時）
入力レベルは－ 50 dBu です。
設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC GAIN1 と MIC GAIN2 項目で入力レベルを－ 60dBu に変えることができます。(➔ 57 ページ) ただし、－ 60dBu に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

3 ファントムマイク (+48 V 電源が必要なマイク) を使用する場合

INPUT1/2（MIC POWER +48V）スイッチを ON の位置にする。

ON:（ファントムマイクを接続した時）
INPUT1/2 端子に +48V 電源を供給します。

OFF :（ファントムマイクを接続しない時)
INPUT1/2 端子に電源を供給しません。

- ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
- +48 V電源に対応していない機器を接続する時はOFFの位置にしてください。ONの位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。
- AG-MC200G（別売)をお使いの場合は、MIC GAIN 項目を-50dBuに設定してください。

4 **CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 に記録する入力信号を選ぶ。**

INT (L):
内蔵マイク Lch の音声を記録します。

INPUT 1:
INPUT1 端子に接続した機器の音声を記録します。

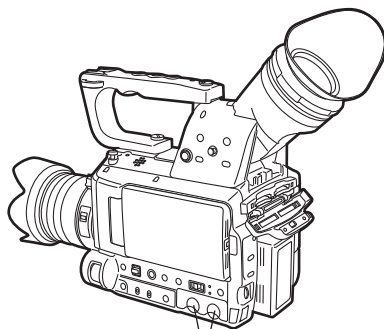
INPUT 2:
INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

5 **CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 に記録する入力信号を選ぶ。**

INT (R):
内蔵マイク Rch の音声を記録します。

INPUT 2:
INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

- 外部マイクの信号をCH1とCH2に入力する時は、外部マイクをINPUT 2端子に接続し、CH1 SELECTスイッチとCH2 SELECTスイッチの両方をINPUT 2の位置にしてください。

音声の記録レベルを調整する

AUDIO LEVEL つまみで、内蔵マイクロホンや INPUT 1/2 端子 (XLR3 ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを調整します。
（モニター音量の調整については ➔ 12 ページ）
音声信号の記録レベルは、設定メニューの RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目（➔ 57 ページ）の設定に関係なく、このつまみで液晶モニター、ビューファインダー左下のオーディオレベルメーターの表示を参考に調整してください。

- 撮影前に記録音量レベルを確認してください。
- 記録時、当社放送用カメラレコーダー（品番 AJ シリーズ）と比較すると、約 8 dB記録レベルが高く設定されています。

撮影用の設定を使い分ける（シーンファイル）

各種撮影状況に応じた設定を、SCENE FILE MENU に保存しています。
設定 MENU の SCENE FILE の SCENE SELECT で、選択します。

工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

F1:
標準の撮影に適したファイル。
F2: FLUO.
蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。
F3: SPARK
解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけた撮影に適したファイル。
F4: B-STR
暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。
F5: CINE V
コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。➔ 52 ページ）
F6: CINE D
ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目で設定する必要があります。➔ 52 ページ）

シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。
また、変更したシーンファイルを、SCENE FILE ダイヤルの各ポジションに保存することもできます。

例：シーンファイルのファイル名を変更する

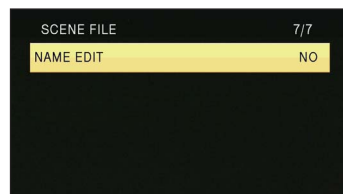
1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **SCENE FILE MENU で、変更するシーンファイルを選ぶ。**

3 **設定メニュー SCENE FILE 画面を選ぶ。**
- メニューの操作(➔ Vol.1の44ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称（リモコン）」をご参照ください。（➔ Vol.1の23ページ）

4 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して NAME EDIT 項目を選ぶ。**

5 **OPERATION レバーを押し（または ▶ 方向に倒し）、▲ 方向に倒して YES を選び、再度 OPERATION レバーを押す。**

撮影

6 下記の画面が表示されたら OPERATION レバーで 6 文字のファイル名を設定する。

ユーザーズビットの設定と同じ方法
（➔ 27 ページ）で行います。

- 設定できる文字
  （スペース）、A ～ Z、0 ～ 9、: ＜＝＞？@ [￥] ^ _ - . /
  ファイル名を設定している時に RESET/TC SET ボタンを押すと、文字がクリアされます。

7 ファイル名の設定が完了したら、OPERATION レバーを押す。

8 確認の画面で YES を選ぶ。

- YESを選ぶと、NAME EDIT画面が終了して変更内容が確定します。
- 変更内容が確定すると、電源をOFFにしたり、シーンダイヤルを変更しても、変更した名前や値は保存されています。

SD メモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、SD メモリーカードに保存、読み出しすることができます。

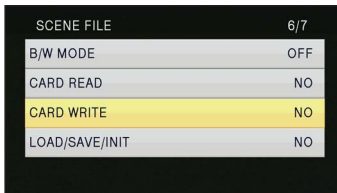
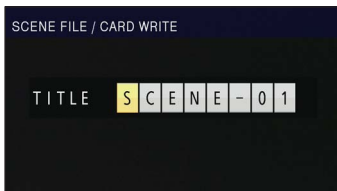
- シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータをSDメモリーカードに書き込みます。SDメモリーカードから読み出した時は本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- F1 ～ F6すべてのシーンファイルが書き替わります。

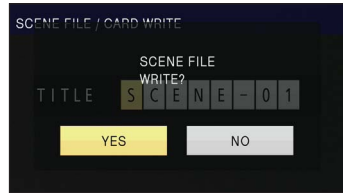
以下の説明は、シーンファイルの保存を基本に説明しています。

1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **設定メニュー SCENE FILE 画面の CARD WRITE 項目で保存したい SD メモリーカードのスロット番号を選んで、OPERATION レバーを押す。**

その他の設定値の場合は、USER FILE 画面を選択します。(➔ 62 ページ)

- メニューの操作(➔ Vol.1の44ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(➔ Vol.1の23ページ)

3 **OPERATION レバーを ◀ ▶ ▲ ▼ 方向に倒して、ファイルを選んで OPERATION レバーを押し、ファイル名を設定する。**

4 **もう一度 OPERATION レバーを押して、下記の画面が表示されたら YES を選び、OPERATION レバーを押す。**

- 下図の場合は、SCENE-01がTITLE名になります。TITLE名を変更するには下記をご参照ください。

- 書込みが完了すると、“WRITE COMPLETED”が表示されます。

5 **MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。**

ファイルを読み出すには

1) 手順**2**でREADを選んでOPERATIONレバーを押す。
2) ファイル番号を選びOPERATIONレバーを押す。
3) 確認の画面でYESを選ぶ。
読み込みが完了すると、READ COMPLETEDが表示されます。

ファイルにタイトルを付けるには

1) 手順 **1** ～ **3** を行う。
2) OPERATIONレバーを ▲ ▼ 方向に倒して文字を選び ▶ 方向に倒して次の文字に移動する。
入力できる文字は以下のとおりです。
(スペース)、A ～ Z、0 ～ 9、: < = > ? @ [¥] ^ _ - . /
3) すべての入力が終わったら、OPERATIONレバーを押す。
4) 確認の画面でYESを押す。

- WRITE PROTECTが表示された場合は、SDメモリーカードのプロテクトを解除してください。
- WRITE NG CANNOT ACCESSが表示された場合は、その他の動作(再生中など)を終了してから操作してください。

クリップメタデータについて

SD メモリーカードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。
（表示の方法 ➔ 38 ページ）

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、SD メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機に読み込むものがあります。
（クリップメタデータの読み込み方法 ➔ 次ページ）

クリップメタデータの内容

下線の項目は、SD メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は撮影時に自動的に設定されます。

GLOBAL CLIP ID:
クリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。

USER CLIP NAME :
ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。*1

VIDEO & AUDIO:
記録映像の FRAME RATE（フレームレート）、REC RATE、RESOLUTION（解像度）、PULL DOWN（プルダウン方式）、AUDIO（記録音声）を表示します。

LENS:
使用レンズの、MAKER、MODEL、SERIAL No. を表示します。

ACCESS:
CREATOR（収録者名）、CREATION DATE（収録日）、LAST UPDATE DATE（最終更新日）、LAST UPDATE PERSON（最終更新者）を表示します。

DEVICE:
MANUFACTURER（機材のメーカー名）、SERIAL NO.（機材のシリアルナンバー）、MODEL NAME（機材のモデル名：本機の場合、AG-AF100）を表示します。

SHOOT:
SHOOTER（撮影者名）、PLACE NAME（撮影地の名前）を表示します。

LOCATION:
ALTITUDE（撮影地の高度）、LONGITUDE（撮影地の経度）、LATITUDE（撮影地の緯度）、SOURCE（情報源）を表示します。本機では記録されません。

SCENARIO:*2
PROGRAM NAME（番組名）、SCENE NO.（シーンナンバー）、TAKE NO.（テイクナンバー）を表示します。

NEWS 1:
REPORTER（リポーター名）、PURPOSE（取材目的）を表示します。

NEWS 2:
OBJECT（取材対象）を表示します。

MEMO:*3
PERSON（テキストメモの記録者）、TEXT（テキストメモの内容）を表示します。

*1 メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、カード単位に、最初に撮影したクリップを 0 として、撮影順に 5 桁の連番を付加していきます。USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは 23 ページをご参照ください。
*2 SCENARIO を入力する時は、必ず PROGRAM NAME を入力してください。SCENE NO.、TAKE NO. のみの入力はできません。
*3 MEMO を入力する時は、必ず TEXT を入力してください。PERSON のみの入力はできません。

- 本機では、ASCII文字のみ表示可能です。日本語の表示はできません。
- 本機では、文字数の表示制限があるためすべてのデータを表示できません。（データが消えているわけではありません。）
- メタデータは、P2ビューアープラスで作成することができます。
  P2ビューアープラスは、下記のウェブサイトからダウンロードすることができます。
  http://panasonic.biz/sav/

メタデータのアップロードなどを行う（META DATA）

以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

メタデータの読み込み

• メタデータを記録したSDメモリーカードを本機に挿入してください。（クリップメタデータの内容 ➔ 前ページ）

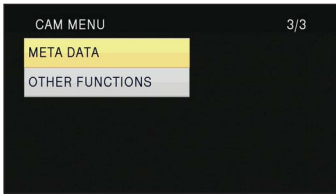
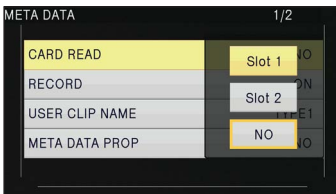
メタデータを SD メモリーカードに記録する / しないの選択

本機内メタデータの初期化

本機内メタデータの表示

1 **動作モードボタンを押して CAM モードにする。**

2 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

3 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して META DATA を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）。**

4 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。**

CARD READ:
SD メモリーカードにセットしたメタデータを本機に読み込みます。
LOAD に移動した状態で OPERATION レバーを押して、読み込みする / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバーを押してください。
・SDメモリーカードのメタデータは、作成日が新しい順に8個まで表示できます。
・読み込むメタデータファイル名が半角英数字以外の場合は＊に変換されて表示されます。

RECORD:
本機に読み込むメタデータを同時に SD メモリーカードに記録するかどうかを設定します。
記録する / しない（ON/OFF）を選び、OPERATION レバーを押してください。
工場出荷モードは OFF です。

USER CLIP NAME:
USER CLIP NAME の記録方法を選択することが可能です。詳しくは下記をご参照ください。

META DATA PROP：
本機に記録されたメタデータを表示します。

CLIP COUNTER RST：
カウンター値を 1 にリセットします。
リセットする / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバーを押してください。

META INIT SET：
本機に記録されたメタデータを初期化します。
初期化する / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバーを押してください。

5 **MENU ボタンを押して、メニューモードを解除する。**

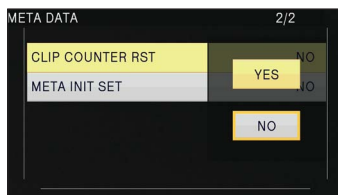
USER CLIP NAME の記録方法の選択

MENU ボタンを押して META DATA → USER CLIP NAME を選択すると、USER CLIP NAME の記録方法を選ぶことができます。
TYPE1 と TYPE2 の 2 通りがあります。

記録される USER CLIP NAME

	TYPE1	TYPE2
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ	アップロードされたデータ＋COUNT 値 *
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	5 桁の撮影順の連番	5 桁の撮影順の連番

撮影

＊COUNT 値は、4 桁の数字で表示されます。
COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法を TYPE2 に設定した状態の時、撮影を行って新しいクリップを生成するごとに、1 ずつ増えます。
また COUNT 値は、以下の方法でリセットできます。
MENU ボタンを押して META DATA → CLIP COUNTER RST → YES を選んで OPERATION レバーを押すと、COUNT 値が 1 にリセットされます。

カウンターを利用する

カウンター表示

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。

1 **COUNTER ボタンを押す。**
ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。（➔ 46 ページ）

0 : 00. 00（CAM モードのみ）
カウンター値の表示です。設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で TOTAL を選択した場合に表示されます。

CLIP 0 : 00.00
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合に表示されます。
撮影開始時に自動的に値がリセットされ、撮影ごとのカウンター値が表示されます。

TC 12 : 34 : 56 . 01
タイムコードの表示（24P に設定している時は、フレーム桁を 24 フレームで表示します。それ以外の設定では、フレーム桁を 30 フレームで表示します）

UB 12　34　56　78
ユーザーズビットの表示

無表示：
データを表示しません。

TC プリセットモード

マルチカメラで撮影する時に、タイムコードの初期値を同期にセットさせることができます。（以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。）

1 **2 台の機器の TC PRESET IN/OUT 端子（VIDEO OUT 端子）をピンケーブルで接続し、電源を入れます。**

■MASTER 側の設定

2 **MASTER 側が CAM モードになっていることを確認して設定メニュー TC/UB SETUP 画面の EXT TC LINK 項目を MASTER に設定します。**
画面に OUTPUTTING LTC SIGNAL と表示され、TC PRESET IN/OUT 端子（VIDEO OUT 端子）からタイムコードが出力されます。
- MASTER側とSLAVE側のカメラの、記録フォーマットを合わせ、TC/UB SETUP 画面のTCG 項目をFREE RUNに設定してください。
- タイムコード出力を解除する場合はMENUボタンを押してください。

■SLAVE 側の設定

3 **設定メニュー TC/UB SETUP 画面の EXT TC LINK 項目を SLAVE に設定します。**

4 **COUNTER - RESET/TC SET ボタンを押します。MASTER から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。**
- メニュー画面が閉じて、画面中央にTC LINK OKと表示されます。
- TC値が正しくセットできない場合は、LINK NGと表示されます。
- SLAVE側が24Pに設定されている時は、MASTER側のTC MODE項目をNDFに設定してください。
- SLAVEモードを解除する場合はMENU ボタンを押してください。

内蔵電池の充電 / タイムコードを設定する

撮影

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。
日時設定しても、LOW INTERNAL BATERY (内蔵電池の残量がありません）が表示される時は、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。
充電完了後、日時を設定してください。

1 本機に AC アダプターを接続する。
(➔ Vol.1 の 25 ページ)
- 本機のPOWERスイッチは、OFFのままにします。

2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。
- 内蔵電池が充電されます。
- 充電を行った後は、タイムコードやメニューを確認してください。

充電後も年月日、時刻が記憶されていない場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

タイムコードを設定する

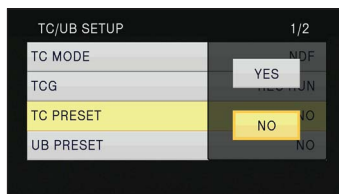
設定メニュー TC/UB SETUP 画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(➔ 58 ページ)
- TC MODE項目
- TCG項目
- TC PRESET項目

タイムコードを指定する（TC PRESET 項目）

任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、TC PRESET 項目でタイムコード値を設定します。

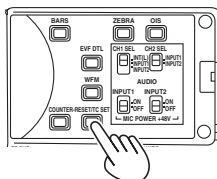
1 本機の POWER スイッチを ON にする。

2 設定メニュー TC/UB SETUP 画面の TC PRESET 項目を選択する。
- メニューの操作(➔ Vol.1の44ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(➔ Vol.1の23ページ)

3 OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、YES に移動し、OPERATION レバーを押す。

4 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。

OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、タイムコード値を選択します。

OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して次の桁に移動し、再度、▲▼ 方向に倒して値を選択します。

タイムコードを設定している時に RESET/TC SET ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。

本体

5 タイムコード値の設定が完了したら OPERATION レバーを押す。

6 OPERATION レバーを ◀ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。

本機では、フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。そのためフォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでご注意ください。
記録フォーマットが 24P の時は 4 フレーム単位の調整となります。

記録フォーマット	タイムコードの調整
1080/24P 720/24P	4 フレーム単位

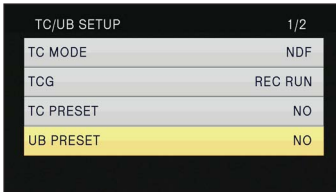
ユーザーズビットを設定する

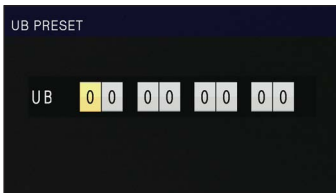
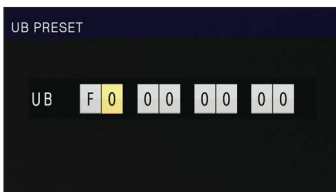
ユーザーズビットを設定することにより、16 進数 8 桁までのメモ情報を記録することができます。
ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

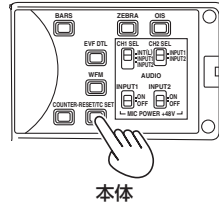
1 **本機の POWER スイッチを ON にする。**

2 **設定メニュー TC/UB SETUP 画面の UB PRESET 項目を選択する。**

- メニューの操作(➔ Vol.1の44ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「各部の名称(リモコン)」をご参照ください。(➔ Vol.1の23ページ)

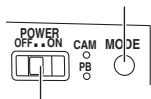
3 **OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。**

4 **ユーザーズビットを設定する。**
OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、ユーザーズビットの文字を選択します。

- 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の0 ～ 9とアルファベットのA ～ Fです。

OPERATION レバーを ▶ 方向に倒して次の桁に移動し、再度、▲▼ 方向に倒して文字を選択します。

ユーザーズビットを設定している時に、RESET/TC SET ボタンを押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。

本体

5 **ユーザーズビットの設定が完了したら OPERATION レバーを押す。**

6 **OPERATION レバーを ◀ 方向に倒して YES に移動し、OPERATION レバーを押す。**

撮影

再生の基本操作

動作モードボタン

POWER スイッチ

1 POWER スイッチを ON にする。

2 動作モードボタンを押して、PB ランプを点灯させる。

本機が PB モードになります。

- 押すたびに、以下のように切り替わります。
  PB ⇆ CAM

サムネールを使ったクリップの再生について詳しくは ➔ 29 ページをご覧ください。

本機の操作ボタン		リモコン
	再生する（▶） 押すと、カーソルがある位置のクリップが再生されます。	
	早送り再生をする（▶▶） 再生中に操作すると、約 10 倍速の早送り再生します。 更に操作すると、約 20 倍速の早送り再生します。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ進めます。	
	早戻し再生をする（◀◀） 再生中に操作すると、約 10 倍速の早戻し再生します。 更に操作すると、約 20 倍速の早戻し再生します。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ戻します	
	停止する（■）	
	一時停止する（❚❚） 再生中に操作すると、一時停止します。 再度操作すると、再生に戻ります。	

サムネール画面について

１回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。PB モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。（クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。）
サムネール画面を使って、以下のようなことが行えます。

- クリップの再生、削除
- SDメモリーカードのフォーマット
- インデックスの付加、削除
- ショットマークの付加、解除

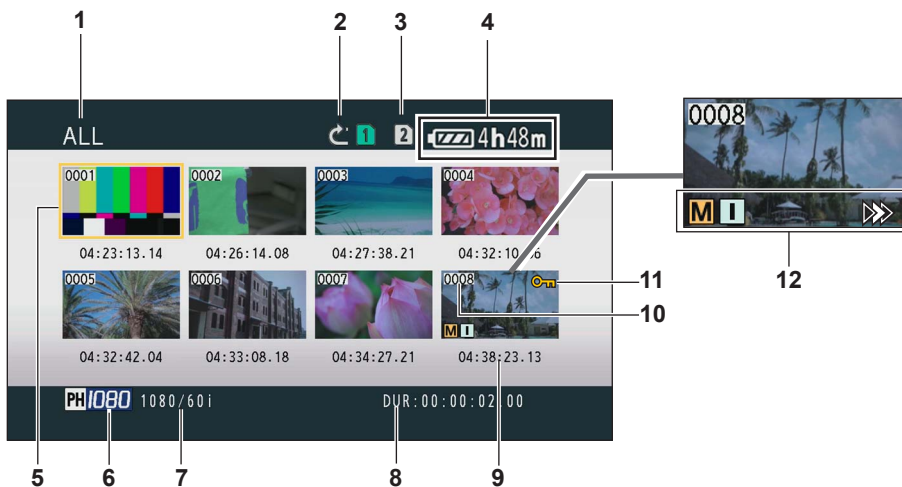
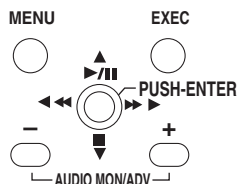
サムネール画面の基本操作

サムネールを選ぶには :
OPERATION レバーを ▲▼◀▶ 方向に倒してサムネールを選びます。（オレンジ色の枠が移動）

MENU
EXEC
▶/❚❚
PUSH-ENTER
◀◀
▶▶
−
+
■
AUDIO MON/ADV

クリップを再生するには :
サムネールを選んで OPERATION レバーを押す。
（再生について ➔ 28 ページ）

再生するスロットを変更するには :
SLOT SELECT ボタンを押し、選択してください。

静止画を再生するには :
SLOT SELECT ボタンを押し、選択してください。

1 サムネールの表示状態 (➔ 34 ページ)
サムネール表示するクリップの種類を示しています。

2 リピート再生インジケーター (➔ 32 ページ)
リピート再生時に表示します。

3 カード状態表示
SD メモリーカードの状態を表示します。

4 バッテリー残量表示 (➔ Vol.1 の 24 ページ)
バッテリーの残量を表示します。

5 カーソル（オレンジ色の枠）
選択中のサムネールに表示されます。

6 記録モード表示
カーソル位置のクリップが PS モードまたは PH モードで撮影されたクリップの場合に、記録モードが表示されます。

7 記録フォーマット表示
カーソルがある位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

8 デュレーション表示
カーソルの位置のクリップのデュレーションが表示されます

9 時間表示 (➔ 34 ページ)
設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード／クリップの記録開始時点のユーザーズビット／撮影時刻／撮影日／撮影日時のいずれかを表示します。

10 クリップ番号
撮影した順番に表示されます。（1000 クリップまで）記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。
赤色のクリップを再生するには、設定メニュー PLAY SETUP 画面の PB FORMAT 項目を、記録フォーマットに合わせてください。
(➔ 65 ページ)

11 O┳ : クリッププロテクト表示
プロテクトされたクリップに表示します。

12 各種インジケーター
M ：ショットマーク
ショットマークが付いていることを示しています。(➔ 31 ページ)
I : インデックス
インデックスが付加記録されていることを示しています。(➔ 35 ページ)
▷▷▷ : レジューム再生表示
レジューム再生の対象になるクリップに表示します。

クリップにショットマークを付ける

ショットマーク（M）を付けておくと、好みのクリップを探すのに便利です。

1 **OPERATION レバーを ▲▼◀▶ 方向に倒して、黄色の枠をショットマークを付けたいクリップに移動させる。**

2 **ショットマーク機能を割り当てた USER ボタンを押す。（➔ 56 ページ）**

ショットマークを解除するには、上記の操作を再び行ってください。

• 民生用カメラ機器で撮影したクリップには、ショットマークを付加することができません。

再生スロットを選択する

再生する SD メモリーカードのスロットの切替をすることができます。

1 **PB モードの THUMBNAIL 画面表示時に、SLOT SELECT ボタンを押す。**

2 **OPERATION レバーを（上下左右）方向に倒して再生したいＳＤメモリーカードのスロットを選択してください。静止画再生もできます。**

VIDEO：
　動画再生
PICTURE：
　静止画再生

3 **OPERATION レバーを押す。**

再生

再生の設定をする（PLAY SETUP）

再生するフォーマットや再生の方法を設定します。

再生フォーマットを設定する（PB FORMAT）

再生するフォーマットを設定します。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **PLAY SETUP 画面の PB FORMAT 項目を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）。**

3 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して、再生するフォーマットを選び、OPERATION レバーを押す。**
- 初期値は、設定メニュー SCENE FILE画面のREC FORMAT 項目の設定が反映されます。
- 再生可能なクリップのクリップ番号が黒色で、再生できないクリップ番号は赤色で表示されます。

- 再生フォーマットを設定しても、CAMモードに切り替えると、設定メニュー SCENE FILE画面のREC FORMAT項目で設定された記録フォーマットに戻ります。
- リレー記録機能を用いて作成されたリレー先のクリップは、再生フォーマットがクリップと一致していない場合、サムネール映像が表示されません（！が表示されます）。再生フォーマットをクリップと一致させるとサムネール映像が表示されます。

リピート再生（REPEAT PLAY）

設定すると、再生可能なすべてのクリップを繰り返して再生します。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **PLAY SETUP 画面の REPEAT PLAY 項目を ON にする。**

3 **MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**
リピート再生インジケーターが表示されます。
再生操作をすると、再生可能なクリップを繰り返して再生します。
- 停止操作をするまで、繰り返し再生を行います。
- リピート再生の設定を OFF にするには、手順 **2** で OFF を選んでください。

続きから再生する (RESUME PLAY)

設定すると、再生を途中で止めた場合に続きから再生します。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **PLAY SETUP 画面の RESUME PLAY 項目を ON にする。**

3 **MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

4 **クリップを選んで再生する。**
再生を途中で止めた場合は、クリップのサムネールにレジューム再生インジケーターが表示され、次に再生操作をすると続きから再生します。
- レジューム再生の設定をOFFにするには、手順**2** でOFFを選んでください。
- 電源OFFや、CAMモードに切り替えると、再生途中の位置は解除します。（最終クリップの先頭に戻ります）

スキップの方法を設定する (SKIP MODE)

一時停止中にスキップ（頭出し）操作をした時の動作を設定します。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **PLAY SETUP 画面の SKIP MODE 項目を選択する。**

3 **スキップの方法を選択する。**
CLIP：
一時停止中に OPERATION レバーを ◀ または ▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭に移動します。
CLIP & INDEX：
一時停止中に OPERATION レバーを ◀ または ▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭と、前後の INDEX の位置に移動します。

4 **MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

サムネールの操作

サムネールの表示方法を選ぶ (THUMBNAIL)

好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。
また、サムネール表示のしかたをさらに細かく設定することもできます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **THUMBNAIL 画面を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）。**

3 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。**

THUMBNAIL MODE:
表示するクリップを選びます。
ALL:
すべてのクリップを表示します。
SAME FORMAT:
PB フォーマットと同じクリップを表示します。
MARKER:
ショットマークが付いたクリップを表示します。
INDEX:
インデックスが付いたクリップを表示します。

INDICATOR:
インジケーターの表示／非表示（ON/OFF）を設定します。（工場出荷時は ON に設定されています。）
OFF に設定しても、クリッププロテクト表示とレジューム再生表示は表示されます。

DATA DISPLAY:
クリップの時間表示の部分を、
タイムコード（TC）/ ユーザーズビット（UB）/
撮影時間（TIME）/ 撮影日（DATE）/
撮影日時（DATE & TIME）のいずれかから選択します。撮影日時に設定した場合、
「月 - 日　時刻」の表示になります。

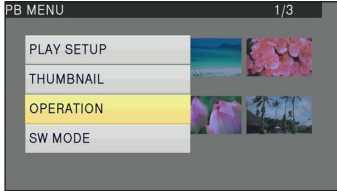
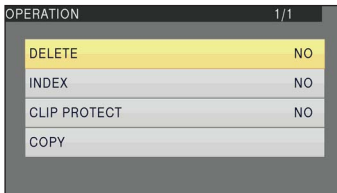
DATE FORMAT:
記録日時の表示順を、年月日（Y-M-D）/ 月日年（M-D-Y）/ 日月年（D-M-Y）のいずれかから選択します。
この表示は、クリップのプロパティで表示される記録日に反映されません。

4 **MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

クリップの削除やプロテクトなどを行う（OPERATION）

クリップの削除やプロテクト（保護）が行えます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 **OPERATION 画面を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）。**

3 **OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。**

DELETE:
ALL CLIPS:
すべてのクリップを削除します。
削除する / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバー を押してください。
SELECT:
選択したクリップを削除します。
OPERATION レバーでクリップを選ぶと選んだクリップが赤色の枠で囲まれます。（続けて選択できます。）
EXEC ボタンを押して決定し
OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒して削除する / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバー を押してください。
NO:
1 つ前の画面に戻ります。

- プロテクトされているクリップは削除できません。
- ALL CLIPSを選んですべてのクリップを削除する時は、削除する容量によって時間がかかる場合があります。
- リモコンで削除操作はできません。
- 途中で削除を中止するには、CANCELボタンを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

INDEX:
YES:
選択したクリップにインデックスを付加します。
1）クリップを選んで再生し、インデックスを付加するポイントで OPERATION レバーを押します。

2）確認の画面で YES を選ぶとインデックスが付加されます。
- クリップにインデックスが付加されるポイントには、0.5 秒程度の誤差が発生します。
- インデックスを削除する場合は手順 **3** で INDEX → YES を選んだ後
  1）クリップを選んで再生し、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、一時停止状態にする。
  2）OPERATION レバーを ◀▶ 方向に倒すと、インデックスが付加されたポイントに、ポインターが移動するので、削除するインデックスに、ポインターを移動させて OPERATION レバーを押す。
  3）確認の画面で YES を選ぶ。

NO:
1 つ前の画面に戻ります。

- 民生用カメラ機器で撮影した映像には、インデックスを付加することができません。
- インデックス再生中は、音量調整ができません。

CLIP PROTECT:
YES:
選択したクリップをプロテクトします。
（🔑 マークが表示されます。）
・プロテクトされたクリップを選択すると解除します。（🔑 マークが消えます。）
クリップがプロテクトされていても、フォーマットを実行すると消去されます。
NO:
1 つ前の画面に戻ります。

4 **MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。**

クリップをコピーする (COPY)

SD メモリーカードに記録したクリップを、別の SD メモリーカードにコピーできます。

1 **コピーしたいクリップの入った SD メモリーカードを一方の SD メモリーカードスロットに挿入する。**

2 **もう一方の SD メモリーカードスロットにコピー先の SD メモリーカードを挿入する。**
- コピー先のSDメモリーカード残量が不足しているとコピーできません。

3 **PB MENU の OPERATION で COPY を選択する。**

4 **コピーするデータ種類を選択する。**
VIDEO&PICTURE：
ビデオ映像と写真データ
VIDEO：
ビデオ映像のみ
PICTURE：
写真データのみ

5 **コピー方法を選択する。**
VIDEO コピー時
ALL CLIPS：
全てのシーン
SELECT CLIPS：
シーンを選択する。
SAME FORMAT：
PB FORMAT 設定と同じフォーマットのシーン
INDEX：
INDEX が入力されたシーン
MARK：
シーン MARK が入力されたシーン
PICTURE コピー時
ALL SCENES：
全てのシーン
SELECT CLIPS：
シーンを選択する。

6 **コピー開始を選択する。**
コピー中に、SD メモリーカード扉を開けたり、電源を切ったりしないでください。
- バッテリー残量が不足していると、コピー機能は動作しません。充電されたバッテリーに交換するか、ACアダプターを使用してください。

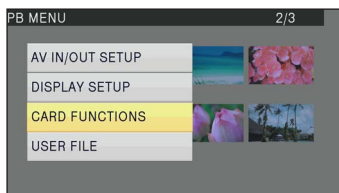
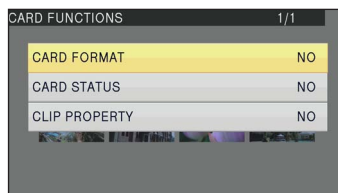
AG-3DA1 で記録したクリップは、本機ではコピー対象として選択できません。また、本機で再生できないクリップも選択できません。ただし、本機で再生できない写真は、コピー対象として選択してコピーすることができます。

カードのフォーマットやクリップやカードの情報を確認する (CARD FUNCTIONS)

SD メモリーカードのフォーマットを行ったり、クリップや SD メモリーカードの情報が確認できます。

1 MENU ボタンを押す。

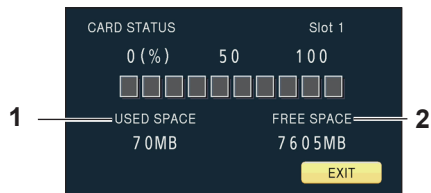
メニューの操作（➔ Vol.1 の 44 ページ）

2 CARD FUNCTIONS を選び、OPERATION レバーを押す（または ▶ 方向に倒す）。

3 OPERATION レバーを ▲▼ 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。

CARD FORMAT :
- フォーマットするカードを本機に挿入してください
- SDメモリーカードをフォーマットします。実行するとビデオ映像・写真データを含むすべてのデータが消去されます。
  フォーマットする / しない（YES/NO）を選び、OPERATION レバー を押してください。

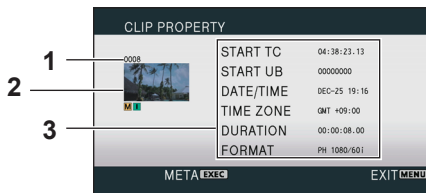
CARD STATUS:
SD メモリーカードの情報が表示されます。（➔ 次ページ）

CLIP PROPERTY:
選択したクリップの情報が表示されます。（➔ 次ページ）
- OPERATIONレバーを ◀▶ 方向に倒すと前後のクリップの情報を表示できます。

4 MENU ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

SD メモリーカードの情報画面

1 **USED SPACE :**
使用容量

2 **FREE SPACE :**
空き容量

クリップの情報画面

1 **クリップ番号**

2 **サムネール**（サムネール画面について ➔ 29 ページ）

3 **クリップ情報**
クリップに付加されたさまざまなデータを表示します。

START TC: 記録開始時のタイムコードの値
START UB: 記録開始時のユーザーズビットの値
DATE/TIME: 記録した日付と記録開始時の時刻
TIME ZONE: タイムゾーンを表示します。
DURATION: クリップの長さ
FORMAT: 記録フォーマット

• **クリップメタデータ**
クリップの情報画面を表示している時に、EXEC ボタンを押すと映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。
OPERATION レバーを ▲▼ に倒して、見たい情報を確認してください。
（クリップメタデータの内容について ➔ 22 ページ）

再生に便利な機能

早送り / 早戻し再生

1 **再生中に、OPERATION レバーを ◀◀（早戻し）または ▶▶（早送り）方向に倒す（またはリモコンの SEARCH ボタンを押す）。**
約 10 倍速で、早送り / 早戻し再生します。更に操作すると、約 20 倍速の早送り / 早戻し再生します。

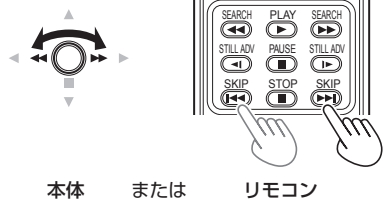
通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを ▲ 方向（再生）に倒します（またはリモコンの PLAY ボタンを押す）。

- 早送り再生で最後のクリップの再生を終了するとサムネール表示に戻ります。
- 早戻し再生で先頭のクリップの再生を終了すると、先頭クリップで一時停止します。
- 早送り / 早戻し再生中は音声出力されません。

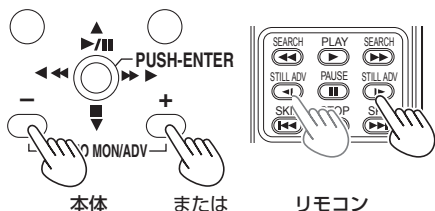
クリップ送り / 戻し

1 **再生中に、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、一時停止状態にする（またはリモコンの PAUSE ボタンを押す）。**

2 **OPERATION レバーを ◀◀（早戻し）または ▶▶（早送り）方向に倒す（またはリモコンの SKIP ボタンを押す）。**

再生

コマ送り再生

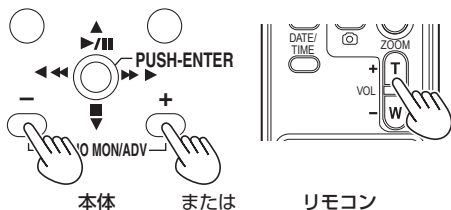
1 **再生中に、OPERATION レバーを ▲ 方向に倒して、一時停止状態にする（またはリモコンの PAUSE ボタンを押す）。**

2 **AUDIO MON/ADV ボタンを押す（またはリモコンの STILL ADV ボタンを押す）。**
- 押し続けると、押している間、連続してコマ送りします。
- リモコンのSTILL ADV ボタンを押しつづけると連続コマ送りモードになります。元に戻すにはPAUSE ボタンを押してください。

本体　　または　　リモコン

＋ ボタンを押すと正方向にコマ送りされ、－ ボタンを押すと逆方向に 0.5 秒ごとの映像がコマ送りされます。
通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを ▲ 方向（再生）に倒します（またはリモコンの PLAY ボタンを押す）。

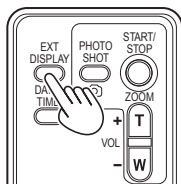
音量を調整する

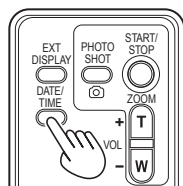
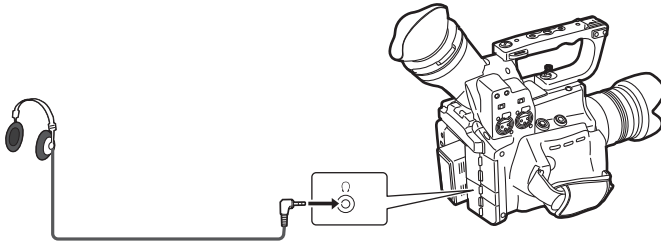
1 **再生中に AUDIO MON/ADV ボタンで、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量を調整する。**
リモコンの場合、ZOOM/VOL ボタンを押します。

本体　　または　　リモコン

テレビに接続して見る

AV コード（別売）、HDMI ケーブル（別売）を接続すると、テレビで再生映像を見ることができます。

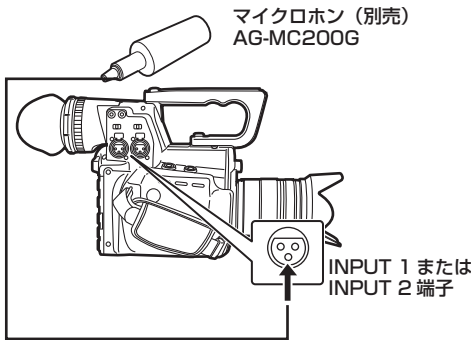
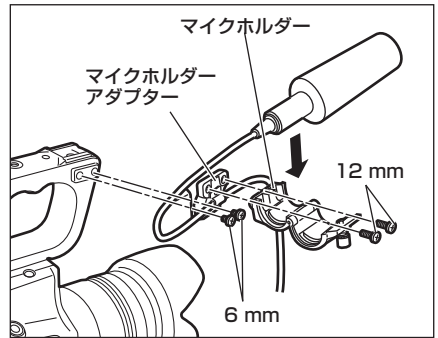
1 **本機とテレビを接続する。（➔ 42 ページ）**

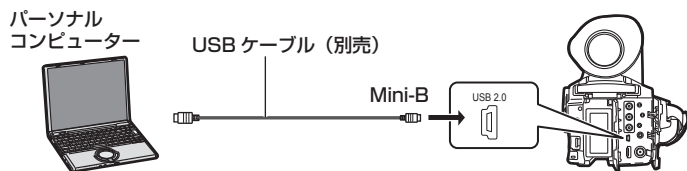
2 **本機を再生する。**
- ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示する時は、リモコンのEXT. DISPLAY ボタンを押します。
再度、EXT. DISPLAY ボタンを押すと、表示が消えます。

撮影日時を確認する

リモコンの DATE/TIME ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

外部機器を接続する

ヘッドホン

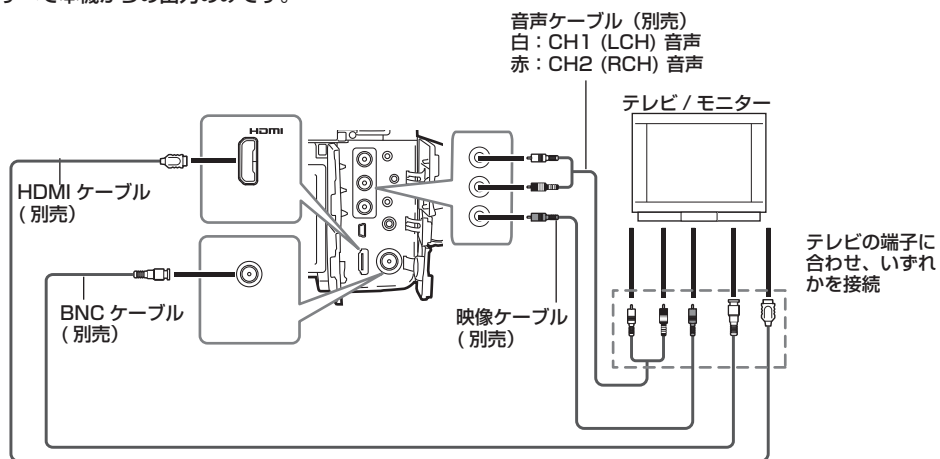
ステレオミニジャック（3.5 mm）

• ヘッドホン(別売)を接続するとスピーカーから音声は出力されません。

外部マイク

• 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクホルダーとマイクホルダーアダプターを使用してください。
• マイクホルダーおよびマイクホルダーアダプターをねじで取り付ける際、ゴムとの摩擦音がしますが、しっかりと締め付けてください。
• マイクホルダーの取り付け位置は、ハンドル部とINPUT 1/2端子上部の２箇所に用意しています。ハンドル部に取り付けた場合、広角のレンズ使用時にマイクが映りこむ場合があります。映像をご確認の上、取り付け部を選択してください。
• マイクケーブルの配線処理には、マイクホルダーアダプターのケーブルクランパー、または付属のケーブルクランパーを使用してください。

パーソナルコンピューター（ノンリニア編集 / ファイル転送）

- パーソナルコンピューターの条件等については ➔ 44ページ
- USBケーブルは、3 m以内の二重シールドケーブルをご使用ください。

テレビ / モニター

すべて本機からの出力のみです。

■本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。
• HDMIケーブル(別売)は、二重シールドケーブルをご使用ください。
• HDMIケーブルは当社製HDMIケーブルを推奨します。
• ビエラリンクには対応していません。

■映像出力の制約について
• SDIOUT出力時、サイドLCDとEVFは同時動作できません。同時動作させるには、設定MENU-AV IN/OUT SETUPのSDI OUTをOFFに設定してください。なお、設定MENU-DISPLAY SETUPのEVF MODEが、AUTOに設定されていると、LCDを開くとEVFが消えます。
• REC FORMATを1080/24pに設定し、SDI 24PsF設定をONに設定しているとHDMI出力されません。
• SDI&HDMI OUT SELが、DOWNCONVに設定されているとき、DOWNCON MODE設定のSIDE CROPは無効になり、自動的にSQUEEZEになります。
• VIDEO OUT端子からの出力される映像にはタイムコード、オーディオレベルメーターなど、一部表示されない表示があります。
• PSモード時でも、SDI OUT出力時は、SDI/HDMI出力共に、1080/60i、1080/50iでの出力となります。
• SDI OUTをOFFにしている時のみ、PS MODE HDMI OUT SEL項目が有効になり、1080/60P、1080/50P出力が可能になります。

ノンリニア編集をする

編集用のパーソナルコンピューターと USB ケーブルで接続して、SD メモリーカード内の映像データをノンリニア編集することができます。(接続 ➔ 42 ページ)
十分に充電されたバッテリーまたは、AC アダプターをご使用ください。

USB 接続を行う場合は次の条件が必要です。
- WindowsXP、WindowsVistaまたはWindows7 を搭載したパーソナルコンピューター、またはIntel製CPUを搭載したMacintosh (Intel Mac)
- USB2.0（High Speed、MassStorageClass）対応（USB1.1 は対応していません）
- パーソナルコンピューターは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパーソナルコンピューターの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。

1 **SD メモリーカードを本機に挿入し、POWER スイッチを ON にする。**

2 **本機とパーソナルコンピューターを USB ケーブルで接続する。**
接続する前にパーソナルコンピューターの電源を入れてください。

3 **「PC」を選択する。**
「RECORDER」を選択すると、ブルーレイディスクレコーダーなどにダビングできます。

4 **パーソナルコンピューターでノンリニア編集を行う。**
パーソナルコンピューターのマイコンピュータまたはデスクトップに、SD メモリーカードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。
(➔ 74 ページ)
（例）Windows の場合

リムーバブルディスク（E:）

（例）Macintosh の場合

NO NAME

- 本機のファイルをパーソナルコンピューターにコピーする時は、ファイルの上書きなどに十分注意して操作を行ってください。
- 詳しくは、パーソナルコンピューター側の編集ソフトの説明をご覧ください。
- カードを入れ替える場合は、アクセスランプが点滅していないこと、およびカードにアクセスしていないことを確認してください。
- パーソナルコンピューターと接続中は、本機の操作が行えません。
- ケーブルを抜く時は、パーソナルコンピューターで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
- SDメモリーカードスロットカバーが開いていると、SDメモリーカードにアクセスできません。

5 **本機の電源を切る。**

- パーソナルコンピューターで本機が正しく認識できない時は、以下の方法で認識できる場合があります。
  - ・本機とパーソナルコンピューターの電源を切ってから再度電源を入れてください。
  - ・本機からSDメモリーカードを取り出し、再度挿入してください。
  - ・パーソナルコンピューターの他のUSB端子に接続してください。
- SDXCメモリーカードをお使いの場合、パーソナルコンピューターによってはデータを認識できません。パーソナルコンピューターがSDXCカードに対応しているか、ご確認ください。

ダビングをする

ブルーレイディスクレコーダーを使ってダビングする

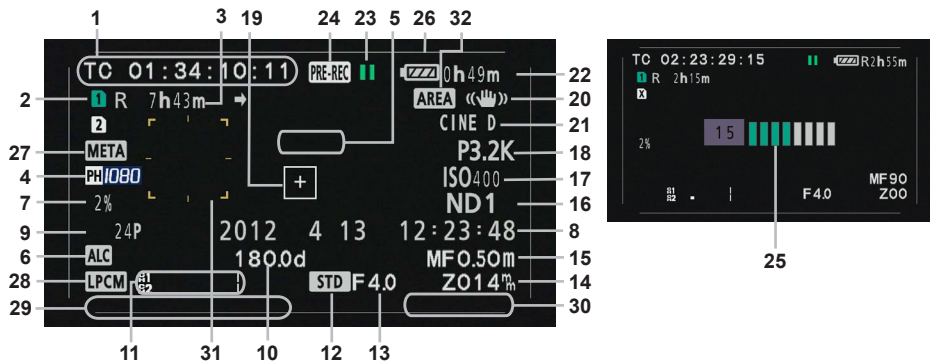
当社製 BD レコーダーに本機で撮影した SD メモリーカードを入れて、ブルーレイディスクや DVD、HDD に保存することができます。

- AVCHD対応のBDレコーダーをお使いください。ただしAVCHDに対応している場合でもダビングできない場合があります。ブルーレイディスクへのダビング方法などについては、BDレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 本機で撮影したビデオをブルーレイディスク(BD-RE, BD-R)またはHDD、DVDへダビングすると、本機のサポートしているメタデータ情報が失われます。

1 **本機から撮影済みの SD メモリーカードを取り出す。**
本機の電源を「OFF」にしてから、SD メモリーカードを取り出してください。

2 **SD メモリーカードを BD/DVD レコーダーのカードスロットに入れる。**
ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BD/DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

画面の表示

通常の表示

1　タイムコード表示

COUNTER ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

COUNTER：

カウンター値

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で TOTAL を選択した場合に表示されます。

CLIP：

撮影ごとの CLIP のカウンター値

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の REC COUNTER 項目で CLIP を選択した場合に表示されます。

・再生時のタイムコード表示は、自動的にCLIPになり、クリップごとに0:00.0からカウントします。

TC:

タイムコード値

タイムコード値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、［TC ＊］を表示します。

UB:

ユーザーズビット値

ユーザーズビット値が SD メモリーカードから正しく読みとれなかった時には、［UB ＊］を表示します。

2　メディア情報表示

挿入されている SD メモリーカードの基本情報を表示します。上段にスロット 1、下段にスロット 2 の情報を表示します。

□：

記録可能なカード（白色）

・記録対象の場合、緑色で表示します。

P：

ライトプロテクトがかかっている

☒：

記録不可能なカード

F：

カードの容量がいっぱい

・表示がされていても記録できる場合があります。

・SDメモリーカードの容量や種類によっては、撮影中にカードの容量がいっぱいになり撮影が停止しても、表示されない場合があります。

R：

再生専用カード

1000 以上のクリップが記録された SD メモリーカードは再生専用になります。

⊘：

カード未挿入

・赤く点滅します。

⇒：

リレー記録時、表示します。

3　メディア残量表示

設定メニュー SCENE FILE 画面の REC FORMAT 項目で設定された記録フレームレートでの残量を表示します。

PB モード時には表示しません。

• 表示される時間は目安です。
• スロット２の残量もこの位置に表示されます。

4　記録フォーマット表示 (➔ 52 ページ)

5 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。

- オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。
- ワーニング(➔ 49ページ)
- 現在の撮影条件下で推奨するNDフィルターを表示します。
- AWBエラーメッセージ(LOW LIGHT / LEVEL OVER)を表示します。(➔ Vol.1の42ページ)
- DISP/MODE CHK ボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示します。

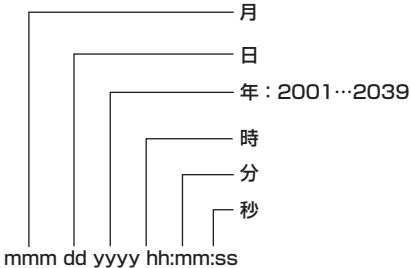
6 マイクレベル自動制御表示

設定メニュー RECORDING SETUP 画面の MIC ALC 項目を、ON にした時に表示します。

7 マーカー輝度表示

マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを 0% ～ 99% で表示します。99% を超える時は、「99% ↑」を表示します。

- AREA Y-GET機能動作時は、AREA枠中央付近の映像レベルを表示します。

8 日付と時刻表示

設定メニュー DISPLAY SETUP 画面 DATE FORMAT 項目で、並び順を変更できます。

9 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。
1080/60i、1080/50i の時は表示しません。

10 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

11 オーディオレベルメーター表示 (➔ 18ページ)

12 オートアイリス制御表示

STD: 標準オートアイリス制御
SPOT: スポットライト用のオートアイリス制御
BACK: 逆光補正用のオートアイリス制御

13 アイリス表示

F 値を表示します。レンズにより、表示値の STEP が異なります。

14 ズームポジション表示

Z00（広角最大）～ Z99（望遠最大）でズームポジションを表示します。
設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM & FOCUS 項目で、単位を mm に切り替えられます。
また、フォーカスポジション表示はリニアに動きません。工場出荷時はmm表示です。

15 フォーカス制御情報表示

99 ～ 00 でフォーカス制御情報を表示します。
オートフォーカスの時は AF､マニュアルフォーカスの時は MF と表示されます。設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の ZOOM & FOCUS 項目で、単位を feet または m に切り替えられます。レンズにより、表示値の STEP が異なります。工場出荷時はm表示です。

16 ND フィルター表示

選択している ND フィルターを表示します。

17 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。

18 AWB 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。
ATW：ATW 設定時
P3.2 K/P5.6 K/VAR：プリセット時
Ach/Bch：A/B 時
LOCK：ATW ロック時

19 マーカー表示

撮影時に ZEBRA ボタンを何度か押すと、マーカーを表示します。

20 手ブレ補正 (✋) 表示

手ブレ補正が ON の時に表示されます。

21 シーンファイル名表示 (➔ 19 ページ)

表示

（次ページへつづく）

22 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、と表示が変わります。3 分以下になると が赤色に点滅し、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、REC CHECKを行ったり、LCDの明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- ACアダプター使用時は表示されません。

23 動作状態表示

○（赤色）：撮影
▯▯（緑色）：撮影待機
▷（緑色）：再生
▯▯（白色）：再生一時停止
INDEX [▯▯]：INDEX 付加位置での再生一時停止
▯▯▷（◁▯▯）：コマ送り再生（逆方向コマ送り再生）
▷▷|（|◁◁）：頭出し（逆方向頭出し）
▷▷（◁◁）：早送り / 早送り再生（巻き戻し / 早戻し再生）
▷|（|◁）：最終シーンでの一時停止（先頭シーンでの一時停止）

対面表示時

表示なし：記録できない状態（カードなし等）
○：撮影中、撮影停止移行中
▯▯：撮影停止（撮影待機）
!：警告表示中

24 記録機能表示

PRE-REC：プリレックモード ON 時
⇔：インターバル REC モード時

25 モニター音量レベルメーター

AUDIO MON/ADV ボタンを押すと、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。

26 セーフティゾーン

DISPLAY SETUP 画面の SAFETY ZONE 項目（➔ 60 ページ）の設定により、範囲を表示します。

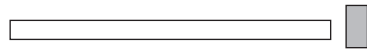
90%：家庭用テレビで表示できる範囲
4:3：4:3 に切り出す範囲
14:9：16:9 と 4:3 の中間の範囲
1.85:1：アメリカン・ビスタの範囲
2:1：2:1 スコープの範囲
2.35:1：シネマスコープの範囲
2.39:1：シネマスコープ（2.39:1）の範囲
GRID：水平・垂直のグリッド線

27 メタデータ記録情報

META：メタデータ記録 ON 時
表示なし：メタデータ記録 OFF 時

28 記録オーディオ種別表示

LPCM：オーディオ LPCM 記録時
表示なし：オーディオ Dolby Digital 記録時
A.REC：オーディオ未記録時（VFR MODE や INTERVAL REC 時）

29 FOCUS_BAR 表示

LCD/EVF の左下に上記表示をします。映像の高周波成分量を数値化し表示しています。

白バー：フォーカスバー表示
緑線：ピーク表示

30 IRIS METER 表示

LCD/EVF の右下に上記表示をします。

中央：標準光量を示します。
右：光量オーバーを示します。
左：光量アンダーを示します
表示上の緑色の点：オートアイリス時の補正量を示します。

31 AREA 枠表示

AREA 機能の範囲を表示します。

32 AREA 動作表示

FUNCTION ノブで機能枠内のエリアで動作中に表示します。

主なワーニング

液晶モニターやビューファインダーに表示される、主なワーニング表示を記載しています。その他のワーニング表示については、表示されるメッセージを確認してください。

■C

CANNOT BE USED DUE TO INCOMPATIBLE DATA.
データの規格が異なるため使えません。

CANNOT DELETE.
削除できません。

CANNOT DELETE WITH THIS BUTTON
削除できません。

CANNOT PLAY.
再生できません。

CANNOT PLAY WITH THIS BUTTON
再生できません。

CANNOT RECORD PH MODE AND HA MODE INTO THIS CARD.
このカードには、PH モードや HA モードで記録できません。

CANNOT RECORD.
THE NUMBER OF CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.
クリップ数がいっぱいで記録できません。

CANNOT SET
THE NUMBER OF INDEXES HAS EXCEEDED THE MAXIMUM LIMIT.
インデックス数が上限をこえるためセットできません。

CANNOT SET PRE-REC,
CARD CAPACITY TOO LOW
カード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。

CARD DOOR OPENED.
カードのふたが開いています。

CARD ERROR.
PLEASE REFORMAT.
フォーマット失敗しました。このカードは再フォーマットが必要です。

CARD FULL.
カード残量がありません。

CHECK CARD.
カードを確認してください。
以前に他の機器やパーソナルコンピューターでお使いになっていた SD メモリーカードを本機で初めてお使いの場合、CHECK CARD の表示が出て、操作ができない場合があります。
この場合は、次のように対処してください。

① SD メモリーカードをいったん本機から取り出し、差し込み直す。(➔ Vol.1 の 38 ページ)
本機が SD メモリーカードを認識し、CHECK CARD の表示が消えます。

② 何回抜き差ししても CHECK CARD の表示が消えない場合は、パーソナルコンピューターで SD メモリーカードの中身を確認し、データをすべて消去する。

③ 本機で SD メモリーカードをフォーマットする。(➔ Vol.1 の 36 ページ)

パーソナルコンピューターでカードのデータが読めなかったり、消去できなかった場合は SD メモリーカードが壊れている可能性があります。別の SD メモリーカードをご使用ください。

CHECK USB CABLE.
PC を接続してください。

CONTROL DATA ERROR HAS BEEN DETECTED.
管理情報にエラーを検出しました。

■D

DISCONNECT USB CABLE.
モード切換時は、USB ケーブルを抜いてください。

■I

INCOMPATIBLE CARD.
PLEASE CHECK CARD.
システム周波数の異なる形式でフォーマットされたカードです。カードを確認してください。

表示

(次ページへつづく)

■N

NO CARD
カードが入っていません。

NOW ACCESSING.
PLEASE DO NOT REMOVE CARD.
カードにアクセス中です。カードを抜かないでください。

■R

REC STOPPED.
NOW WRITING.
ビデオ記録が停止しました。カードに書き込み中です。

REPAIR CLIP?
クリップを修復しますか？

■S

SD CARD FORMAT?
YES　NO
SD メモリーカードをフォーマットしますか？
する　しない

SET DATE AND TIME
日時を設定してください。

■T

THE CLIP IS PROTECTED.
PLEASE CANCEL PROTECTION.
クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。

THE RECORDING IS STOPPED
(OVER THE LIMITATION)
記録を停止します。（12 時間連続録画）

THE TC MODE IS CHANGED TO "NDF"
TC モードは NDF になります。

THIS BATTERY CANNOT BE USED.
このバッテリーは使えません。

THIS CARD CANNOT RECORD IN VIDEO MODE.
このカードはビデオ記録できません。

THUMBNAIL DATA ERROR IS DETECTED.
サムネール情報にエラーを検出しました。

■U

UNABLE TO FORMAT.
フォーマットできません。

■W

WRITE PROTECT
ライトプロテクトされています。

エラー表示

本機や SD メモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってカードを交換するか、もしくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■C

CANNOT RECORD
撮影時に異常が生じた時に表示します。

■R

REC WARNING
記録時に異常が生じた時に表示します。再度記録してください。それでもワーニング表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ワーニング表示が続く場合は電源をOFFにしてください。
- 再度記録してもワーニング表示が出る場合は、別のカードに取り替えてください。

■S

SYSTEM ERROR
TURN POWER OFF
システムに異常が発生した時に表示します。電源を入れ直してください。
- クリップを削除した時など、SDメモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、SD メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいカードに交換してください。
- 修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフトAVCCAM Restorerをお使いください。（➔ Vol.1の38ページ）

■W

WARNING
カメラ系の異常が発生した時に表示します。再度記録してください。
FOCUS NG（フォーカス動作異常）
PSD NG（手ブレ検出異常）

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、DISP/MODE CHK ボタンを押した時や、設定メニュー DISPLAY SETUP 画面の OTHER DISPLAY 項目（➔ 61 ページ）の設定により表示します。

表示項目	MODE CHK (DISP/MODE CHK ボタンの長押し)	DISPLAY	OTHER DISPLAY 項目の設定		
			ALL	PARTIAL	OFF
1 タイムコード表示	○	—	—	—	—
2 メディア情報表示	○	○	—	—	—
3 メディア残量表示	○	○	—	—	—
4 記録フォーマット表示	○	○	○	x	x
5 情報表示	—	—	—	—	—
6 マイクレベル自動制御表示	○	○	○	x	x
7 マーカー輝度表示	—	—	—	—	—
8 日付と時刻表示	○	○	—	—	—
9 フレームレート表示	○	○	○ *1	x	x
10 シャッタースピード表示	○	○	○	○	x
11 オーディオレベルメーター表示	○	○	—	—	—
12 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	x
13 アイリス表示	○	○	○	○	x
14 ズームポジション表示	○	○	—	—	—
15 フォーカス制御情報表示	○	○	—	—	—
16 ND フィルター表示	○	○	○	x	x
17 ゲイン表示	○	○	○	○ *2	x
18 AWB 情報表示	○	○	○	○ *3	x
19 マーカー表示	—	—	—	—	—
20 手ブレ補正表示	○	○	○	○	x
21 シーンファイル名表示	○	○	○	x	x
22 バッテリー残量表示	○	○	—	—	—
23 動作状態表示	—	—	—	—	—
24 記録機能表示	—	—	—	—	—
25 モニター音量レベルメーター	—	—	—	—	—
26 セーフティゾーン	—	—	—	—	—
27 メタデータ記録情報	○	○	○	x	x
28 記録オーディオ種別表示	○	○	○	x	x
29 FOCUS_BAR 表示	○	○	—	—	—
30 IRIS METER 表示	○	○	—	—	—
31 AREA 枠表示	—	—	—	—	—
32 AREA 動作表示	○	○	○	○	x

○: 表示する
x: 表示しない
—: 他の設定により表示を行います。

MODE CHECK 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押したままにすると表示される項目を示しています。
DISPLAY 欄の○は、DISP/MODE CHK ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。
*1 フレームレートが 60i/50i の時は表示されません。
*2 0dB は表示されません。
*3 プリセット 3.2 K と 5.6 K、および VAR のみ表示します。

設定メニュー一覧

SCENE FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
SCENE SELECT	(カメラ)	各種撮影状況に応じた設定（SCENE FILE）を選択します。 MENU-SCENE FILE-LOAD/SAVE/INIT で、各種設定を読み込み・保存・初期化する事ができます。 **F1、F2、F3、F4、F5、F6**
OPERATION TYPE	(カメラ)	シャッターやフレームレート動作をビデオ系またはフィルム系に切り替えます。 FILM CAM: VFR 動作可能。SLOW シャッター不可。SYNCROSCAN 表示 = 角度。ゲイン表示 = ISO。 VIDEO CAM: VFR 動作不可。SLOW シャッター可能。SYNCROSCAN 表示 = 秒数。ゲイン表示 = dB。
REC FORMAT	(カメラ)	記録フォーマットを選択します。 SYSTEM FREQ = 59.94Hz 時 PH 1080/24P、PH 720/24P はネイティブ記録です。 **PS 1080/60P、PH 1080/60i、PH 1080/30P、PH 1080/24P、PH 720/60P、PH 720/30P、PH 720/24P、HA 1080/60i、HE 1080/60i** SYSTEM FREQ = 50Hz 時 **PS 1080/50P、PH 1080/50i、PH 1080/25P、PH 720/50P、PH 720/25P、HA 1080/50i、HE 1080/50i**
VFR MODE	(カメラ)	**ON:** VFR（バリアブルフレームレート）モードに設定します。 **OFF:** VFR モードに設定しません。 REC FORMAT が、1080/24P、1080/30P、1080/25P 時のみ動作します。 OPERATION TYPE = FILM CAM 時のみ動作します。 SDI 24PsF 設定が ON の時、動作しません。 VFR MODE = ON 時、音声の記録ができません。
FRAME RATE	(カメラ)	FRAME RATE の設定を行ないます。 VFR MODE が ON の時、動作します。 本体 REAR サイドの SHUTR/F.RATE でも設定できます。 SYSTEM FREQ = 59.94Hz 時 **12/15/18/20/21/22/24/25/26/27/28/30/32/34/36/40/44/48/54/60** SYSTEM FREQ = 50Hz 時 **12/15/18/20/21/22/23/24/25/26/27/28/30/32/34/37/42/45/48/50**
SYNCRO SCAN	(カメラ)	テレビ画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンシャッタースピードの調整を行います。 OPERATION レバーを ◀ 方向や ▶ 方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。 OPERATION TYPE = VIDEO CAM　SYSTEM FREQ = 59.94Hz 時 ・**60P/60i の時：** 1/60.0…1/250.6 ・**30P の時：** 1/30.0…1/48.0…1/250.6 ・**24P の時：** 1/24.0…1/48.0…1/250.6 OPERATION TYPE = VIDEO CAM　SYSTEM FREQ = 50Hz 時 ・**50P/50i の時：** 1/50.0…1/250.0 ・**25P の時：** 1/25.0…1/48.0…1/250.0 OPERATION TYPE = FILM CAM 時「deg（角度）」表示 10.0d…172.8d…180.0d…360.0d (0.5d/div)

____ は工場出荷モードです。

SCENE FILE 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
DETAIL LEVEL	（カメラ）	画像の輪郭補正（水平垂直の両方向）の強弱の調整を行います。 － 7…0…＋ 7
V DETAIL LEVEL	（カメラ）	画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。 － 7…0…＋ 7
DETAIL CORING	（カメラ）	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 －方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 ＋方向にするとノイズが少なくなります。 － 7…0…＋ 7
CHROMA LEVEL	（カメラ）	クロマレベルの調整を行います。 － 7…0…＋ 7
CHROMA PHASE	（カメラ）	色相の調整を行います。 － 7…0…＋ 7
COLOR TEMP Ach	（カメラ）	色温度の微調整（ホワイトバランス Ach の調整を行った後の微調整）を行います。 － 7…0…＋ 7
COLOR TEMP Bch	（カメラ）	色温度の微調整（ホワイトバランス Bch の調整を行った後の微調整）を行います。 － 7…0…＋ 7
MASTER PED	（カメラ）	映像の基準とする黒のマスターペデスタルの調整を行います。 － 15…0…＋ 15
A.IRIS LEVEL	（カメラ）	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 － 6…0…＋ 6
DRS	（カメラ）	DRS（ダイナミックレンジストレッチャー）機能を選択します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 OFF、1、2、3 ・数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 ・数値が大きいほど、暗部のノイズが大きくなります。
GAMMA	（カメラ）	ガンマカーブを選択します。 HD NORM: HD 撮影に適したガンマ設定です。 LOW: 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着きのある映像にします。コントラストはシャープになります。 SD NORM: DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 HIGH: 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 B.PRESS: LOW よりコントラストをよりシャープにします。 CINE-LIKE D: 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 CINE-LIKE V: コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 ・CINE-LIKE ガンマを選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く（約1/2）することをお勧めします。
KNEE	（カメラ）	白飛びを押さえるために、撮像素子が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル（ニーポイント）を設定します。 AUTO: 受光した信号に応じて自動で設定します。 LOW: 低めの設定（約 80% から圧縮を開始） MID: 中間の設定（約 90% から圧縮を開始） HIGH: 高めの設定（約 100% から圧縮を開始） ・DRSの値を設定している時や、GAMMAをCINE-LIKEガンマに設定している時は選択できません。

____ は工場出荷モードです。

SCENE FILE 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
MATRIX	（カメラ）	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 NORM1: 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 NORM2: NORM1 より鮮やかな色を表現します。 FLUO: 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 CINE-LIKE: 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。
SKIN TONE DTL	（カメラ）	肌色ディテールの ON/OFF を切り替えます。ON にすると､肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 ON OFF
B/W MODE	（カメラ）	白黒での撮影機能を選択します。 記録・出力全ての映像信号が白黒になります。 B/W MODE=ON 時も AWB 等の色温度調整は動作しており、白黒映像に影響します。 B/W MODE=OFF 時にホワイトバランスを調整・確認後、ON 設定にする事をお勧めします。 ON OFF
CARD READ	（カメラ）	SD メモリーカードから、シーンファイルを読み出します。 Slot1：Slot1 の SD メモリーカードに保存されたシーンファイル（F1 ～ F6 のすべて）の設定値を選択して読み出します。 Slot2：Slot2 の SD メモリーカードに保存されたシーンファイル（F1 ～ F6 のすべて）の設定値を選択して読み出します。 NO： 1 つ前の画面に戻ります。
CARD WRITE	（カメラ）	SD メモリーカードへ、シーンファイルを保存します。 Slot1：Slot1 の SD メモリーカードにシーンファイル（F1 ～ F6 のすべて）の設定値を保存します。 Slot2：Slot2 の SD メモリーカードにシーンファイル（F1 ～ F6 のすべて）の設定値を保存します。 NO： 1 つ前の画面に戻ります。
LOAD/SAVE/INIT	（カメラ）	LOAD: 本機で保存したシーンファイルの設定値を、読み込みます。 SAVE: 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。 INIT: SCENE SELECT 項目で選択されているシーンファイルの設定値を、工場出荷時の状態に戻します。 NO： 1 つ前の画面に戻ります。
NAME EDIT	（カメラ）	MENU/SCENE FILE/SCENE SELECT で選択されている SCENE FILE の名前を編集します。 YES NO

____ は工場出荷モードです。

SW MODE 画面

項目	表示モード	設定内容
FUNCTION KNOB	（カメラ）	FUNCTION KNOB の AREA 動作に割り当てる機能を設定します。 INH: 機能を割り当てない。 FOCUS: AUTO FOCUS/FOCUS BAR 機能 IRIS: AUTO IRIS/IRIS METER 機能 YGET: YGET（輝度測定）機能 FOCUS/IRIS: 上記、FOCUS と IRIS の同時動作 FOCUS/YGET: 上記、FOCUS と YGET の同時動作

____ は工場出荷モードです。

SW MODE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
LOW GAIN	（カメラ）	GAIN スイッチの L 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 OPERATION TYPE = FILM CAM 時 ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500、ISO3200 OPERATION TYPE = VIDEO CAM 時 -6dB、-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB
MID GAIN	（カメラ）	GAIN スイッチの M 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 OPERATION TYPE = FILM CAM 時 ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500、ISO3200 OPERATION TYPE = VIDEO CAM 時 -6dB、-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB
HIGH GAIN	（カメラ）	GAIN スイッチの H 位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 OPERATION TYPE = FILM CAM 時 ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500、ISO3200 OPERATION TYPE = VIDEO CAM 時 -6dB、-3dB、0dB、3dB、6dB、9dB、12dB、15dB、18dB
ATW	（カメラ）	WHITE BAL スイッチに割り当てる、ATW（自動追尾式のホワイトバランス）機能の動作を設定します。ただし、USER ボタンに ATW 機能が設定されている場合は、そのボタンの動作に従います。 Ach: WHITE BAL スイッチを A の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 Bch: WHITE BAL スイッチを B の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 PRST: WHITE BAL スイッチを PRST の位置に切り替えた時に、ATW 機能を動作させます。 OFF: ATW 機能を動作させません。
IRIS DIAL	（カメラ）	IRIS ダイヤルの回転方向と絞り制御を設定します。 (MANUAL IRIS モード時) DOWN OPEN: IRIS ダイヤルを下方向に回した時に、絞りが開きます。 UP OPEN: IRIS ダイヤルを上方向に回した時に、絞りが開きます。

＿＿ は工場出荷モードです。

SW MODE 画面 (つづき)

項目	表示モード	設定内容
USER1 SW	(カメラ) (PB)	USER1 ボタンに割り当てる機能を設定します。 INH: 機能を割り当てません。 REC CHECK: レックチェックを行ないます。 FACE DETECT: 顔検出機能です。AUTO IRIS/AUTO FOCUS 動作を検出された顔中心に行ないます。フォーカス制御とアイリス制御、両方がオート設定の時に有効になります。 IN RED: エッジ部を赤色に表示します。(LCD/EVF のみ) 動作時、LCD/EVF の枠を赤く表示します。 EXPAND: 画面中央部が拡大表示されます。(液晶モニターのみ) 動作時、LCD の枠を青く表示します。 CAPTURE: 静止画を記録します。動画記録中や PRE REC 機能動作時は動作しません。 ATW: ATW 機能の ON/OFF を切り替えます。 ATW LOCK: ATW 時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、ATW 機能動作を行います。 SHOT MARK: ショットマークを記録します。(➔ 13 ページ) 記録中、サムネール表示中、クリップ表示中に有効です。 INDEX: インデックス記録 (➔ 13 ページ) 記録中有効です。 LAST CLIP: 撮影直後のクリップを削除します。(➔ 13 ページ) ・記録後に、PB、PCモードに切り替えたり、REC FORMATを変更したり、電源を切ると削除できません。 BACKLIGHT: 逆光補正用のオートアイリス制御 SPOTLIGHT: スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。 BLACKFADE: ブラックフェード (➔ 11 ページ) WHITEFADE: ホワイトフェード (➔ 11 ページ)
USER2 SW	(カメラ) (PB)	USER2 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。 ATW LOCK
USER3 SW	(カメラ) (PB)	USER3 ボタンに割り当てる機能を設定します。 設定内容は USER1 項目と同じです。 REC CHECK
WFM	(カメラ)	WFM ボタンを押したときの WAVE FORM の表示を切り替えます。 WAVE: 波形で表示します。 VECTOR: ベクトルで表示します。 WAVE/VECTOR: ボタンを押すごとに、OFF → WAVE → VECTOR → OFF の順に切り替わります。
S/S SW INH	(カメラ)	1: START/STOP1 SW を無効にします。 2: START/STOP2 SW を無効にします。 NO: 無効化しません。不要な START/STOP SW の誤操作防止にお使いください。
FACE FRAMING	(カメラ)	USER SW で FACE DETECT 機能の動作時に検出された顔を枠表示します。 検出する枠は最大 15 個で大きいもの、画面の中心に近いものが優先されます。 OFF: 表示しません。 PRIMARY: 優先枠のみ表示します。 ALL: 顔検出枠をすべて表示します。

____ は工場出荷モードです。

RECORDING SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
PRERECMODE	（カメラ）	プリレックを設定します。 **ON:** 　プリレックを設定します。 **OFF:** 　設定しません。 ・TCGがフリーランに設定されます。 ・インターバル記録使用時は設定できません。
INTERVAL REC	（カメラ）	長時間かけてゆっくり動くシーンを記録間隔を空けてこま撮りをして短時間の動画として記録します。設定した記録時間ごとに 1 コマが記録され､24 コマ(PAL 25 コマ）で 1 秒の映像となります。インターバル記録を設定した場合は、下記の項目の設定に自動的に変更されます。 PH モード　1080/24P (SYSTEM FREQ = 59.94 時） 　　　　　　1080/25P (SYSTEM FREQ = 50 時） ・TC RECRUN　　NDF固定 ・音声は記録されません。 **OFF、1SECOND、10SECONDS、30SECONDS、1MINUTE、2MINUTES**
RELAY REC	（カメラ）	**ON:** 　リレー記録。記録中の SD メモリーカードが FULL になった時、もう一方の SD メモリーカードスロットに記録可能な SD メモリーカードが挿入されていた場合に、連続して記録を継続します。 **OFF:** 　リレー記録しません。対象の SD メモリーカードが FULL になった時点で記録を停止します。
PS/PH AUDIO MODE	（カメラ）	REC FORMAT = PS または PH 時に、記録する音声のフォーマットを選択します。 **LINEAR PCM:** 　非圧縮の LPCM で記録します。 **Dolby Digital:** 　Dolby Digital フォーマットで記録します。 ・PSまたはPHモード以外はDolby Digital固定です。 ・LINEAR PCMに設定した場合、AG-HMR10など、弊社従来機種では再生できません。
MIC ALC	（カメラ）	**ON:** 　マイクレベル自動制御を設定します。 **OFF:** 　設定しません。 過大な入力レベルの時に音声歪みを低減することができます。音声信号の記録レベルは、この項目の設定に関係なく、AUDIO コントロールつまみで調整してください。
MIC GAIN1	（カメラ）	INPUT1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 **-50dB、-60dB**
MIC GAIN2	（カメラ）	INPUT2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 **-50dB、-60dB**

＿＿ は工場出荷モードです。

TC/UB SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
TC MODE	（カメラ）	内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。 DF:　ドロップフレームモードを使用します。 NDF:　ノンドロップフレームモードを使用します。 ・記録フォーマットの記録フレームレートを24Pに設定している時は、自動でNDFに設定されます。 ・SYSTEM FREQ = 59.94Hz時のみ有効です。PH 1080/24P、PH 720/24Pはネイティブ記録です。
TCG	（カメラ）	内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。 FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させます。24P に設定している時は、PB モードへの切り替えを行うと誤差が発生する場合があります。 REC RUN:　撮影中の時に歩進させます。
TC PRESET	（カメラ）	記録するタイムコードの初期値を設定します。 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P に設定している時は、フレームの値を 0 または 4 の倍数に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。 YES　NO
UB PRESET	（カメラ）	ユーザーズビットを設定します。 YES　NO
EXT TC LINK	（カメラ）	マルチカメラ撮影をする時に、タイムコードの初期値を同期します。（SLAVE 側のタイムコードを、MASTER 側の内部 TCG の値に同期させます。） MASTER:　本機をマスターモードにします。 SLAVE:　本機をスレーブモードにします。COUNTER RESET/TC SET ボタンを押した時に、入力タイムコードに対して内部 TCG を同期させます。 NO:　1 つ前の画面に戻ります。 ・MASTER、SLAVEモード設定はこのメニューを開いている時のみ有効です。メニューを閉じると自動的にEXT TC LINKが解除されます。

＿＿ は工場出荷モードです。

AV IN/OUT SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
SDI OUT	（カメラ） （PB）	SDI 端子からの映像出力を設定します。 **ON:** SDI 出力から映像を出力します。この時、LCD 表示と EVF 表示は、同時に表示しません。EVF 使用時は LCD を閉じてください。 **OFF:** SDI 出力から映像を出力しません。
SDI & HDMI OUT SEL	（カメラ） （PB）	SDI&HDMI OUT 端子の出力映像方式を設定します。 **1080i/720P:** REC FORMAT で設定した解像度で出力します。 **DOWNCONV:** SDI は、480i HDMI は、480p で出力します。（SYSTEM FREQ = 59.94 時）SDI は、576i HDMI は、576p で出力します。（SYSTEM FREQ = 50 時）
PS MODE HDMI OUT SEL	（カメラ） （PB）	PS モード時の HDMI 出力フォーマットを設定します。 **1080P:** 1080/60P、1080/50P で出力します。 **1080i:** 1080/60i、1080/50i で出力します。 ・SDI OUT設定がON時は、設定できません。（1080i固定になります。） ・SDI & HDMI OUT SEL設定が、DOWNCONV時は、480P、576Pでの出力になります。
SDI 24PsF	（カメラ） （PB）	SDI 出力からの映像フォーマットを 24PsF にします。 **ON:** REC FORMAT=1080 24p 時のみ動作します。本項目を ON すると、VFR 動作が解除されます。24PsF 出力時は、HDMI 出力が停止します。 **OFF:** SDI 出力が、1080 60i 形式で出力されます。 ・SYSTEM FREQ = 50Hz時は、この項目はありません。
SDI EDH	（カメラ） （PB）	SD SDI 出力時に、SDI 出力への EDH の重畳を設定します。 **ON:** EDH を重畳します。 **OFF:** EDH を重畳しません。
DOWNCON MODE	（カメラ） （PB）	ダウンコンバートの出力モードを切り替えます。 **SIDE CROP:** サイドクロップ（左右両端をカットします。）A/V 端子から出力した映像は画面からはみ出して見えなくなる部分があります。SDI & HDMI OUT SEL 項目が DOWNCONV に設定している時は選択できません。 **LETTER BOX:** レターボックス（上下に黒い帯を追加します。） **SQUEEZE:** スクイーズ（水平方向に圧縮します。）
HP MODE	（カメラ）	ヘッドホンの出力を切り替えます。 **LIVE:** マイクから入力された音声をそのまま出力します。音の遅延が気になる場合に選択します。 **RECORDING:** 記録される状態の音声（映像と同期した音声）を出力します。
TEST TONE	（カメラ）	BARS 設定が ON の時 CH1/2/3/4 へのテストトーン出力を設定します。 **ON:** テストトーンを出力します。 **OFF:** テストトーンを出力しません。
VIDEO SETUP	（カメラ） （PB）	映像信号のセットアップレベルを設定します。 **0%:** VIDEO OUT 端子出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 **7.5%A:** VIDEO OUT 端子出力はセットアップ 7.5%、記録上はセットアップ 0% になります。 ・SYSTEM FREQ = 50Hz時は、この項目はありません。
AUDIO OUT	（カメラ） （PB）	AUDIO OUT 端子（A/V OUT）から出力する音声信号を設定します。 **CH1/CH2:** CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH2 信号 **CH1:** CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH1 信号 **CH2:** CH1 端子 = CH2 信号、CH2 端子 = CH2 信号 ・他機で5.1ch記録されたSDメモリーカードを本機で再生した場合、A/V OUT 端子とヘッドホン端子からの出力は2chにダウンミックスコンバートされます。

＿＿＿ は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
ZEBRA DETECT 1	（カメラ）	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 **50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%、105%**
ZEBRA DETECT 2	（カメラ）	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 **OFF、50%、55%、60%、65%、70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%、105%**
Y GET MARKER	（カメラ）	輝度レベル表示用マーカーの表示 ON/OFF を切り替えます。 ON に設定すると、ZEBRA ボタンを押して、マーカーを表示することができます。 **ON、OFF**
SAFETY ZONE	（カメラ）	SAFETY ZONE を設定します。 **90%:** 16：9 の 90% 表示 **4:3:** 4：3 の 100% 表示 **14:9:** 14:9 の 100% 表示 **1.85:1:** 1.85:1 の 100% 表示 **2:1:** 2:1 の 100% 表示 **2.35:1:** 2.35:1 シネマスコープ表示 **2.39:1:** 2.39:1 シネマスコープ表示 **GRID:** 9 分割縦横ライン 16:9 画角の表示 **OFF:** SAFETY ZONE を表示しません。
CENTER MARKER	（カメラ）	CENTER MARKER を設定します。ON に設定すると、CENTER MARKER を表示することができます。 **ON、OFF**
FOCUS BAR	（カメラ）	FOCUS ASSIST バー表示の ON/OFF を設定します。ON に設定すると、FOCUS ASSIST バーを表示することができます。 **ON、OFF**
REC COUNTER	（カメラ）	撮影時のカウンターの動作を選択します。 **TOTAL:** COUNTER RESET ボタンでリセットするまでカウントを継続します。 **CLIP:** 撮影開始時にカウンターをリセットし、撮影単位の時間をカウントします。 ・PBモードでは常にCLIPモードで動作します。
VIDEO OUT OSD	（カメラ） （PB）	ON に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 **ON、OFF** ・A/V OUT端子には、表示しない項目があります。
IRIS METER	（カメラ）	IRIS METER の表示を設定します。 **ON:** 映像の明るさについて、本機で判定した最適値との差を表示します。右にバーが出る：明る過ぎると判定しています。左にバーが出る：暗すぎると判定しています。 **OFF:** IRIS METER を表示しません。
DATE/TIME	（カメラ） （PB）	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 **OFF:** 日付や時刻を表示しません。 **TIME:** 時刻を表示します。 **DATE:** 日付を表示します。 **TIME & DATE:** 日付と時刻を表示します。

____ は工場出荷モードです。

DISPLAY SETUP 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
DATE FORMAT	（カメラ） （PB）	年月日表示の表示スタイルを変更します。 Y-M-D: 年月日 M-D-Y: 月日年 D-M-Y: 日月年
LEVEL METER	（カメラ） （PB）	オーディオレベルメーターの表示　ON/OFF を切り替えます。 ON、OFF
ZOOM & FOCUS	（カメラ）	ズーム値とフォーカス値の単位表示を切り替えます。 OFF、NUMBER、mm/m、mm/feet ・mm/feet 表示、mm/m 表示には誤差がありますので目安としてお使いください。 ・マウントアダプタを使用した、カメラとレンズ間の通信接続の無いレンズをお使いの時はズーム値やフォーカス値の表示はしません。
CARD & BATTERY	（カメラ） （PB）	SD メモリーカードの記録残量とバッテリー残量の表示の ON/OFF を切り替えます。 ON、OFF
OTHER DISPLAY	（カメラ） （PB）	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報表示を設定します。 OFF、PARTIAL、ALL
LCD BACKLIGHT	（カメラ） （PB）	液晶モニターのバックライトを調整します。 +1、0、- 1、- 2、- 3 +1: 通常より明るくなります。 - 3: 最も暗くなります。
LCD SET	（カメラ） （PB）	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。 BRIGHTNESS（明るさ） COLOR（色レベル） CONTRAST（コントラスト）
EVF SET	（カメラ） （PB）	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。 BRIGHTNESS（明るさ） COLOR（色レベル） CONTRAST（コントラスト）
SELF SHOOT	（カメラ）	対面撮影を行う時に、液晶モニターのミラー機能を切り替えます。 MIRROR に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 NORMAL、MIRROR
EVF MODE	（カメラ） （PB）	画面映像の切り替えを選択します。 AUTO: 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。 ON: ビューファインダーには、常に映像を表示します。 ・SDI OUT = ON 時には、本項に依らず、強制的に AUTO設定の動作になります。
EVF COLOR	（カメラ） （PB）	ビューファインダー表示を　カラー / モノクロから選択します。 ON: カラー表示 OFF: 白黒表示

＿＿ は工場出荷モードです。

CARD FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD FORMAT	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードをフォーマットします。 **Slot1：** Slot1 に挿入された SD メモリーカードをフォーマットします。 **Slot2：** Slot2 に挿入された SD メモリーカードをフォーマットします。 NO： １つ前の画面に戻ります。
CARD STATUS	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードの状態を表示します。 **Slot1：** Slot1 に挿入された SD メモリーカードの情報を表示します。 **Slot2：** Slot2 に挿入された SD メモリーカードの情報を表示します。 NO： １つ前の画面に戻ります。
CLIP PROPERTY	(PB)	選択したクリップの情報を表示します。 YES： クリップ情報を表示します。 NO： １つ前の画面に戻ります。

＿＿ は工場出荷モードです。

USER FILE 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD READ	(カメラ) (PB)	SD メモリーカードへ保存されたユーザーファイルを読み出します。 **Slot1：** Slot1 に挿入された SD メモリーカードからユーザーファイルを読み出します。 **Slot2：** Slot2 に挿入された SD メモリーカードからユーザーファイルを読み出します。 NO： １つ前の画面に戻ります。
CARD WRITE	(カメラ) (PB)	ユーザーファイルを、SD メモリーカードへ保存します。保存するファイルにはタイトルを付けることもできます。 **Slot1：** Slot1 に挿入された SD メモリーカードにユーザーファイルを保存します。 **Slot2：** Slot2 に挿入された SD メモリーカードにユーザーファイルを保存します。 NO： １つ前の画面に戻ります。
LOAD/SAVE/INIT	(カメラ) (PB)	LOAD: 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 SAVE: 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 INIT: ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 NO: １つ前の画面に戻ります。 ・LOAD やINITIALIZEを行った時は、設定値を有効にするために、本機のPOWERスイッチをOFFにし、再度ONにしてください。 ・INITIALIZEを実行しても、TIME ZONE項目(➔ 64ページ)の設定は変更されません。

＿＿ は工場出荷モードです。

META DATA 画面

項目	表示モード	設定内容
CARD READ	（カメラ）	SD メモリーカードにセットしたメタデータを本機にロードします。 SLOT1　SLOT2　NO ・SDメモリーカードにメタデータが記録されていない時は、NO FILEが表示されます。
RECORD	（カメラ）	本機にロードするメタデータを同時に SD メモリーカードに記録するかどうかを設定します。 ON:　同時に記録します。 OFF:　同時に記録しません。
USER CLIP NAME	（カメラ）	USER CLIP NAME の記録方法を選択します。 TYPE1:アップロードされたメタデータ、またはアップロードデータがない場合は CLIP NAME と同じ名前になります。 TYPE2:アップロードされたデータ＋ COUNT 値、またはアップロードデータがない場合は CLIP NAME と同じ名前になります。
META DATA PROP	（カメラ）	本機に記録されたメタデータを表示します。 YES　NO
CLIP COUNTER RST	（カメラ）	COUNT の値を 1 にリセットします。 YES　NO
META INIT SET	（カメラ）	本機に記録されたメタデータを初期化します。 RECORD の ON/OFF も含め、すべてクリアされます。 YES　NO

＿＿＿ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面

項目	表示モード	設定内容
LENS CHECK	（カメラ）	ON:　レンズとの通信状態を確認します。正常に確認されないと、映像撮影しません。 OFF:　レンズとの通信状態を確認しません。 ・マイクロフォーサーズ・フォーサーズ規格のレンズをお使いの時は、ON設定をお勧めします。 ・マウントアダプタを使用した、カメラとレンズ間の通信接続の無いレンズをお使いの時は本項目をOFFにする事で、映像撮影が可能になります。
IR REMOTE	（カメラ） （PB）	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。 ON:　リモコンでの操作を受け付けます。 ・本機の近くで、同じ種類のリモコンが使用されていると、リモコン操作を受け付けて、撮影中などに突然、意図しない動作をおこなう可能性がありますので、ご注意ください。 OFF:　リモコンでの操作を受け付けません。
TALLY LAMP	（カメラ）	タリーランプの点灯を設定します。 FRONT:フロントのタリーランプ（マイクロホン側）が点灯します。 REAR:　リアのタリーランプ（ビューファインダー側）が点灯します。 BOTH:　フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。 OFF:　タリーランプは点灯しません。

＿＿＿ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>表示モード</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>CLOCK SET</td><td>（カメラ）
（PB）</td><td>本機の内蔵カレンダーを設定します。</td></tr>
<tr><td>TIME ZONE</td><td>（カメラ）
（PB）</td><td>GMT に対して、－ 12:00 から＋ 13:00 まで 30 分単位で設定します。
（下記参照）
+09：00
<table>
<tr><th>時　差</th><th>地　域</th><th>時　差</th><th>地　域</th></tr>
<tr><td>+ 00:00</td><td>グリニッジ</td><td>– 00:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 01:00</td><td>アゾレス諸島</td><td>– 01:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 02:00</td><td>中部大西洋</td><td>– 02:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 03:00</td><td>ブエノスアイレス</td><td>– 03:30</td><td>ニューファンドランド島</td></tr>
<tr><td>– 04:00</td><td>ハリファックス</td><td>– 04:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 05:00</td><td>ニューヨーク</td><td>– 05:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 06:00</td><td>シカゴ</td><td>– 06:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 07:00</td><td>デンバー</td><td>– 07:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 08:00</td><td>ロサンゼルス</td><td>– 08:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 09:00</td><td>アラスカ</td><td>– 09:30</td><td>マルケサス諸島</td></tr>
<tr><td>– 10:00</td><td>ハワイ</td><td>– 10:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 11:00</td><td>ミッドウェイ諸島</td><td>– 11:30</td><td></td></tr>
<tr><td>– 12:00</td><td>クワジャリン</td><td>+ 12:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 13:00</td><td></td><td>+ 11:30</td><td>ノーフォーク島</td></tr>
<tr><td>+ 12:00</td><td>ニュージーランド</td><td>+ 10:30</td><td>ロード・ハウ・アイランド</td></tr>
<tr><td>+ 11:00</td><td>ソロモン諸島</td><td>+ 09:30</td><td>ダーウィン諸島</td></tr>
<tr><td>+ 10:00</td><td>グアム</td><td>+ 08:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 09:00</td><td>東京</td><td>+ 07:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 08:00</td><td>北京</td><td>+ 06:30</td><td>ヤンゴン</td></tr>
<tr><td>+ 07:00</td><td>バンコク</td><td>+ 05:30</td><td>ムンバイ</td></tr>
<tr><td>+ 06:00</td><td>ダッカ</td><td>+ 04:30</td><td>カブール</td></tr>
<tr><td>+ 05:00</td><td>イスラマバード</td><td>+ 03:30</td><td>テヘラン</td></tr>
<tr><td>+ 04:00</td><td>アブダビ</td><td>+ 02:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 03:00</td><td>モスクワ</td><td>+ 01:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 02:00</td><td>東ヨーロッパ</td><td>+ 00:30</td><td></td></tr>
<tr><td>+ 01:00</td><td>中央ヨーロッパ</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>POWER SAVE</td><td>（カメラ）</td><td>CAM モードで SD メモリーカードが挿入されている時に約 5 分間、OPERATION レバー、MENU ボタン、AUDIO MON/ADV ボタン、USER ボタン、START/STOP ボタンの操作がなかった時の省電力モードを選択します。
ON:　本機の電源を OFF にします。
OFF:　本機の電源を OFF にしません。
・この設定がONになっていても、SDメモリーカードが挿入されていない時や、PBモード中、ACアダプター接続時は電源OFF になりません。</td></tr>
<tr><td>LANGUAGE</td><td>（カメラ）
（PB）</td><td>メニュー表示言語を設定します。
ENGLISH:　英語
JAPANESE: 日本語</td></tr>
<tr><td>SYSTEM FREQ</td><td>（カメラ）</td><td>システム周波数を切り替えます。
59.94Hz:　NTSC 地域
50Hz:　PAL 地域</td></tr>
<tr><td>SYSTEM INFO</td><td>（カメラ）
（PB）</td><td>本機システムのバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td>LENS INFO</td><td>（カメラ）
（PB）</td><td>取り付けているマイクロフォーサーズ・フォーサーズレンズのバージョンを表示します。</td></tr>
</table>

＿＿ は工場出荷モードです。

OTHER FUNCTIONS 画面（つづき）

項目	表示モード	設定内容
MENU INIT	（カメラ）	メニュー設定（シーンファイル、ユーザーファイル）を工場出荷時の状態に戻します。 ・TIME ZONE項目は工場出荷の状態に戻りません。
OPERATION TIME	（カメラ） （PB）	通電時間（5 桁）を表示します。
UPDATE	（カメラ）	システムの UPDATE を行ないます。 アップデート情報は、弊社ホームページ <http://panasonic.biz/sav/> をご確認ください。
LENS UPDATE	（カメラ）	レンズのファームウエア UPDATE を行ないます。 ファームウェア UPDATE につきましては、下記の弊社ホームページで具体的なアップデート方法をご確認ください。 http://panasonic.biz/sav/

ACTIVATE 画面

項目	表示モード	設定内容
EXPORT PRODUCT SERIAL	オプション機能を有効にする為のメニューです。 詳細は各オプションの操作説明書をご覧ください。	
IMPORT ACTIVATION CODE		
ACTIVATION LIST		

PLAY SETUP 画面

項目	表示モード	設定内容
PB FORMAT	（PB）	再生するフォーマットを設定します。 SYSTEM FREQ = 59.94Hz 時 **1080/60P、1080/60i (30P)、1080/24P、720/60P(30P)、720/24P** SYSTEM FREQ = 50Hz 時 **1080/50P、1080/50i(25P)、720/50P(25P)** ・PBモードへ移行する前のCAM モードのREC FORMATの設定が、PB FORMATの初期値になります。
REPEAT PLAY	（PB）	ON　OFF ON に設定すると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
RESUME PLAY	（PB）	ON　OFF ON に設定すると、クリップ再生を停止した映像位置から再生します。
SKIP MODE	（PB）	一時停止状態からの頭出しの先頭位置を選択します。 CLIP:　一つ前のクリップの先頭で再生を停止します。 CLIP & INDEX: クリップの先頭と INDEX で停止します。

____ は工場出荷モードです。

THUMBNAIL 画面

項目	表示モード	設定内容
THUMBNAIL MODE	(PB)	サムネールの表示方法を選択します。 ALL: すべてのクリップを表示します。 SAME FORMAT: 記録フォーマットと同じクリップを表示します。 MARKER: ショットマークが付いたクリップを表示します。 INDEX: INDEX が付いたクリップを表示します。
INDICATOR	(PB)	インジケーターの表示 / 非表示を設定します。 ON: 表示します OFF: 表示しません
DATA DISPLAY	(PB)	クリップの時間表示の部分に表示する内容を選択します。 TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 撮影時間 DATE: 撮影日 DATE & TIME: 撮影日時
DATE FORMAT	(PB)	DATA DISPLAY 項目の DATE の表示順を選択します。 Y-M-D: 年月日 M-D-Y: 月日年 D-M-Y: 日月年

____ は工場出荷モードです。

OPERATION 画面

項目	表示モード	設定内容
DELETE	(PB)	クリップを削除します。 ALL CLIPS: すべてのクリップを削除します。 SELECT: 選択したクリップのみを削除します。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。 • CLIP PROTECTされたクリップは削除できません。
INDEX	(PB)	クリップに INDEX を付加、削除します。 YES: 表示します NO: 表示しません
CLIP PROTECT	(PB)	クリップを保護し、誤消去を防ぎます。 YES: クリップのプロテクト（保護）、解除ができます。 NO: 1 つ前の画面に戻ります。 • クリップがプロテクトされていても、フォーマットを実行すると消去されます。
COPY	(PB)	クリップをコピーします。（➔ 36 ページ）

____ は工場出荷モードです。

電源関係

電源が入らない。	・バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。 接続を確認してみてください。	Vol.1 の P25
電源がかってに切れる。	・バッテリーの消耗を防ぐために、撮影の一時停止状態が5分以上続くと、自動的に電源が切れます。 設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のPOWER SAVE項目を確認してください。	P64
電源が入ってもすぐに切れる。	・バッテリーが消耗していませんか。 バッテリー残量表示が点滅していたり、▭ の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。 バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	Vol.1 の P24

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	・十分に充電されていますか。 ACアダプターのCHARGEランプが消灯するまで充電してください。 ・低い温度の所で使っていませんか。 バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 ・バッテリーが寿命になっていませんか。 バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。	Vol.1 の P23
バッテリーが充電できない	・DCコードがACアダプターに接続されていませんか。 DCコードを接続していると充電できません。	Vol.1 の P23
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない。	・バッテリー残量表示は、目安です。バッテリー残量が正しく表示されない場合は、バッテリーを満充電した後、使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になる場所で長時間使用したバッテリーや、充電を繰り返したバッテリーは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）	—

撮影

撮影が始まらない。	・POWERスイッチがONになっていますか。	Vol.1 の P27
自動でピントが合わない。	・マニュアルフォーカスモードになっていませんか。 オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 ・VFR機能使用時は、オートフォーカスは動作しません。 ・レンズにより、オートフォーカス機能の使用できない場合があります。 ・オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。 オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わすことができます。 **ピントの合いにくい場面** ・遠くと近くのものを撮る ・汚れたガラスの向こうのものを撮る ・暗い場所を撮る ・キラキラと光るものが周りにある ・動きの速いものを撮る ・コントラストの少ないものを撮る	Vol.1 の P39

撮影

SD メモリーカードを正しく入れているのに撮影できない。	・SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていませんか。「LOCK」側になっていると撮影できません。 ・SDメモリーカードのメモリー残量が極端に少なくなっていませんか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいカードに交換してください。 ・SDメモリーカードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。 本機でフォーマットしてください。 ・8 MB ～ 16 MBのSDメモリーカードは、動画撮影には使用できません。	Vol.1 の P38 Vol.1 の P36 Vol.1 の P13
撮影がかってに止まってしまう。	・ビデオ撮影に使用可能なSDメモリーカードをお使いですか。 ビデオ撮影に使用可能なSDメモリーカードをお使いください。	Vol.1 の P13

編集

SD メモリーカードが読めない。	・SDメモリーカードが正しくフォーマットされていますか。 本機でフォーマットしてください。	Vol.1 の P36
ノンリニア編集ができない。	・パーソナルコンピューターと接続ケーブルの仕様を確認してください。	P42
外部機器にダビングできない。	・外部機器は正しく接続されていますか。	P42

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	・逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。	—

再生

再生ボタンを押しても再生できない。	・CAMモードになっていませんか。 動作モードボタンを押して、PBランプを点灯させてください。 ・再生フォーマットが合っていますか。 クリップの記録フォーマットと合わせてください。	P28
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	・デジタル特有の現象です。故障ではありません。	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	・テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。 テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。	—
本機のスピーカーから再生音声が出ない。	・本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。 AUDIO MON/ADV ボタン+を押して音量を調整してください。	P40

PC 接続

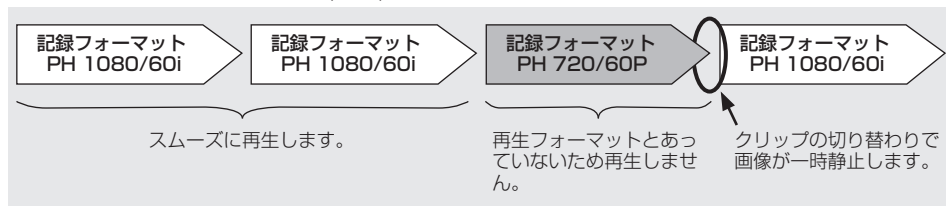
USB 接続ケーブルをつないでもパーソナルコンピューターが認識しない。	・動作環境を確認してください。 ・パーソナルコンピューターに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。 ・本機の電源を切/入して、USB接続ケーブルを接続し直してください。	P42
USB 接続ケーブルを外したらパーソナルコンピューターにエラーメッセージが出る。	・USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。	—

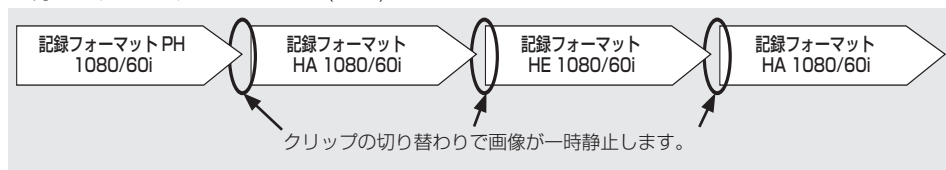
その他

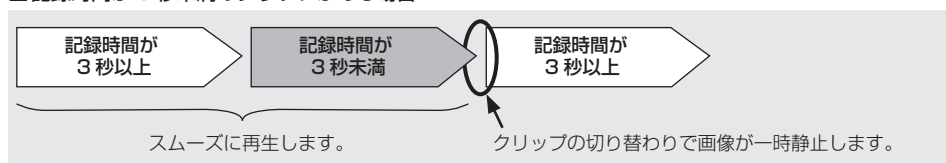
リモコンが働かない。	・リモコンのコイン電池が消耗していませんか。 リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池が消耗しています。新しいコイン電池と交換してください。 ・設定メニュー OTHER FUNCTIONS 画面のIR REMOTE 項目がOFFになっていませんか？	Vol.1 の P23
本機を前後に傾けた時に、カタカタと音がする。	・これはレンズが移動する音です。故障ではありません。電源を入れると音はしなくなります。	—
電源を入れた時や、PB モードから CAM モードに切り替えた時、一瞬カタッと音がする。	・カメラ起動時の初期化動作です。カメラ構造によるもので、故障ではありません。	—
SD メモリーカードの画像がおかしい。	・データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パーソナルコンピューターなどにも保存するようにしてください。	—
SD メモリーカードをフォーマットしても使えるようにならない。	・本機またはSDメモリーカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では512 MB ～ 64 GB までのSDメモリーカードを使用してください。	—
本機に SD メモリーカードを挿入しても認識しない。	・パーソナルコンピューターでフォーマットしたSDメモリーカードを挿入していませんか。SDメモリーカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。 フォーマットすると、SDメモリーカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。	Vol.1 の P36
他の機器に SD メモリーカードを入れても認識しない。	・SDメモリーカードを挿入されている機器が、ご使用のSDメモリーカードの容量、または種類(SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード)に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。	Vol.1 の P13
液晶モニターに映像の焼き付きが生じる。	・同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源をOFFにしておくと、元に戻ります。	

複数クリップの連続再生時にクリップの切り替わりがスムーズに行われない場合があります。
以下のような場合に、複数クリップを連続再生するとクリップが切り替わる時に画像が一時静止することがあります。

■記録フォーマットが混在している場合

記録モード = PH モード
再生フォーマット = 1080/60i(30P)

■記録モードが混在している場合

記録フォーマット = 1080/60i
再生フォーマット = 1080/60i(30P)

■PRE REC 機能や VFR 機能を使って撮影したクリップがある場合

■記録時間が 3 秒未満のクリップがある場合

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデート方法には下記の 2 通りがあります。

1 専用ツール P2 Status Logger で確認し、アップデートする方法

PASS（P2 Asset Support System）に会員登録をいただいたお客様のみ、ご利用することができます。
PASS にログインして専用ツール（P2_Status_Logger）を使用すると、お使いの機器のバージョン情報の確認や、必要なファームウェアのページへリンクしてのダウンロードが可能になります。
P2_Status_Logger のダウンロードおよび使い方については、PASS にログイン後のページを参照ください。
その他、会員登録をいただくといろいろな特典を受けることができます。詳細は PASS（P2 Asset Support System）のサイト（http://panasonic.biz/sav/pass_j/）をご確認ください。

2 ご使用機器本体でバージョンを確認しアップデートする方法

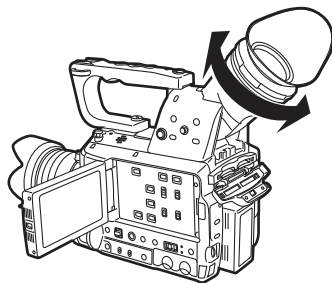
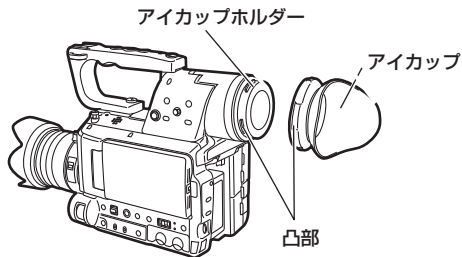
設定メニューの OTHER FUNCTION 画面の SYSTEM INFO 項目で本機のバージョンを確認のうえ、下記 NOTE に記載されたサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

- アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については、下記ウェブサイトのサポートデスクをご参照ください。
  （日本語）http://panasonic.biz/sav/
  （英語）　http://pro-av.panasonic.net/
- 本機で使用するSDメモリーカードは、SD、SDHC、またはSDXC規格に準拠したものをお使いください。また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。
- ベンジンやシンナーを使うと、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラをふいてください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダーの内部にほこりが付着した場合、アイカップホルダーを取り外して除去してください。
- アイカップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対にふかないでください。ほこりが付着した時は、エアーブロアなどで吹き飛ばしてください。
- アイカップホルダーは、アイカップを付けた状態で反時計方向に回して取り外します。(アイカップホルダーは､固めに締めてあります｡)この時、少しビューファインダーを上向きにして行ってください。
- アイカップホルダーを取り付ける時は、アイカップホルダーとカメラ本体の凹凸部を合わせ、時計方向にカチッと音がするまで回してください。

保管上のお願い

保管時は、カメラから SD メモリーカードを出し、バッテリーを外してください。
湿気が少なく比較的温度が一定な場所にそれぞれ保管してください。
[推奨温度：15℃～ 25℃]
[推奨相対湿度：40% ～ 60%]

カメラレコーダー
- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

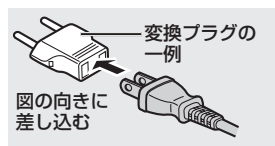
バッテリー
- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- **バッテリーの端子に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。**

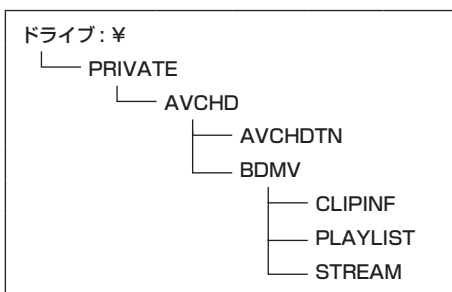
SD メモリーカード
- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多い所には置かないでください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧(100 V ～ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。
AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。

SD メモリーカード記録データの取り扱いについて

AVCHD フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、PC との親和性にすぐれていますが、映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、AVCHD データとして認識できない、もしくはカードが AVCHD 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

■本機のメタデータの取り扱いについて

本機のサポートしているメタデータは、AVCHD 規格の管理ファイル領域内のメーカー独自領域を使用しています。

本機のメタデータをサポートしていない編集ソフトやカメラレコーダーでのファイル削除、コピー、クリッププロテクトの付加、削除などの編集動作を行った場合、メタデータの独自領域が消去され、本機で付加したショットマークやインデックス、PH モードの情報などが失われます。

このような編集動作を行う前に、本機のメタデータをサポートしているかをご確認の上、作業してください。